

Panasonic

カメラコントロールユニット

取扱説明書

品番 **BB-HGW501**



このたびは、パナソニック「カメラコントロールユニット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特 長

業界初のアプリケーションプラットフォーム機能

本製品は、カメラを制御する基本的なプログラム（ファームウェア）とは別に、アプリケーションを追加したり、変更したりできるアプリケーションプラットフォーム機能を搭載しています。本製品設置後にパナソニックのサポートウェブサイト*から必要なカメラ制御アプリケーションをダウンロードすることで本製品の機能を強化できます。

*パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/>)

カメラ切断通知機能などカメラコントロール機能を強化

本製品は、カメラが電源切断などの原因でネットワークから応答が得られない場合に、パソコンや携帯電話にメールで通知するカメラ切断通知機能があります。通知先のメールアドレスは5つまで登録できるので、同時に複数の端末に連絡することができ、カメラに障害があるときなどに迅速かつ確実に対応できます。

インターネットかんたんセットアップ

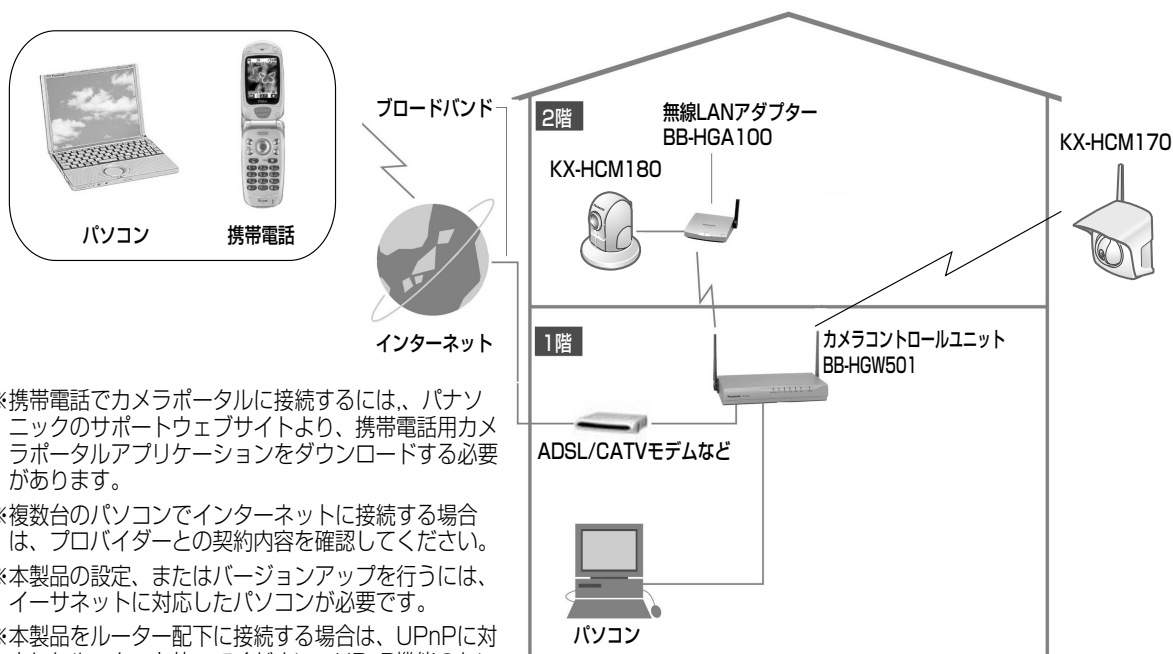
本製品には「かんたん設定」機能があります。ウィザードに従って設定するだけで、ウェブブラウザで簡単にインターネット接続の設定ができます。特別なソフトのインストールは不要です。フレッツ・ADSL、Yahoo!BBなどのプロバイダーを選択し、ガイダンスに従った簡単な操作で、インターネット接続ができます。

イーサネット対応機器を手軽に無線化

パソコンやイーサネットに対応した機器に当社製無線LANアダプター「BB-HGA100」（別売品）を接続することにより、簡単にネットワークを無線化できます。

無線自動設定機能（セキュリティ設定含む）

当社製無線LANアダプター「BB-HGA100」（別売品）の各種設定を自動的に行います。その際、無線のセキュリティ設定も自動で行いますので、より確実な無線LANを実現します。



※携帯電話でカメラポータルに接続するには、パナソニックのサポートウェブサイトより、携帯電話用カメラポータルアプリケーションをダウンロードする必要があります。

※複数台のパソコンでインターネットに接続する場合は、プロバイダーとの契約内容を確認してください。

※本製品の設定、またはバージョンアップを行うには、イーサネットに対応したパソコンが必要です。

※本製品をルーター配下に接続する場合は、UPnPに対応したルーターを使ってください。UPnP機能のないモデム内蔵ルーターなどに接続して使用することはできません。

特 長

カメラ自動登録機能（セキュリティ設定含む）

当社製ネットワークカメラ（別売品）と組み合わせて利用することにより、無線のセキュリティ設定（暗号化 [WEP] 設定など）およびカメラのネットワーク関連設定（ポートフォワーディング設定など）を自動的に行うことができるカメラ自動登録機能に対応しています。

カメラポータル画面对応

当社製ネットワークカメラ（別売品）と組み合わせて利用することにより、最大16台までのカメラ名と静止画像をモニタリング画面上に一覧表示することができるカメラポータル画面に対応しています。また、このカメラポータル画面の設定も自動的に行うことができます。

UPnP(Universal Plug and Play)対応

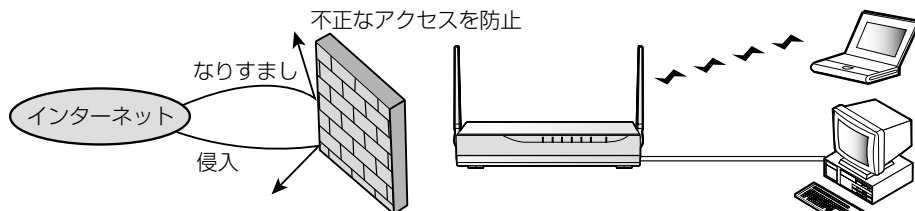
複数台のパソコンで同時にWindows/MSN[®] Messengerを使用できるUPnPに対応しています。このため、Windows/MSN Messengerを使ったビデオチャットや、インターネット電話などが簡単に利用できます。

2つのプロバイダーに同時接続可能

2つのプロバイダーに同時接続することができるPPPoEマルチセッション機能を搭載しています。このため、例えばフレッツ・ADSLなどで使用する場合には、フレッツ・スクウェアと通常のプロバイダーを切り替えることなく同時にアクセスできて便利です。

充実したセキュリティ機能

「アクセス制限」、「アドレス変換」、「セキュリティワンタッチ」などによるルーターのセキュリティ機能に加えて、「SSID」、「暗号化 (WEP) 64/128bit」、「MACアドレスフィルタリング」などによる無線のセキュリティ機能を搭載しています。これにより、他人が無断でアクセスして、不正に侵入することを難しくし、プライバシー保護やセキュリティの向上が図れます。



【商標／登録商標について】

- Netscape Navigatorは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。
- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft、MSN、Windows、およびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

【略称について】

- Windows[®] 98の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 98 Operating Systemです。（以下、Windows 98という）
- Windows[®] Meの正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition Operating Systemです。（以下、Windows Meという）
- Windows[®] 2000の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 ProfessionalまたはMicrosoft[®] Windows[®] 2000 Serverです。（以下、Windows 2000という）
- Windows[®] XPの正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] XP ProfessionalまたはMicrosoft[®] Windows[®] XP Home Editionです。（以下、Windows XPという）
- UPnP[™]は、Universal Plug and Playの略称です。
- IGDとは、UPnPフォーラムで定義されたInternet Gateway Device を意味します。
- 本取扱説明書では、「CATVモデム」または「ADSLモデム」のことをモデムと表記しています。
- 本取扱説明書では、「ネットワークカメラ」のことを「カメラ」と表記しています。
- 本取扱説明書では、「アプリケーションプログラム」のことを「アプリケーション」と表記しています。

ご使用の前に

はじめに	6
● 本取扱説明書に使用しているマークについて	6
● 必要なシステム	6
● 付属品	7
安全上のご注意	8
正しくお使いいただくためのお願い	12
各部のなまえ	14
● 正面	14
● 背面	14
● インジケーター	15

設定画面

機能	16
● トップページ	16
● かんたん設定	17
● 詳細設定	18
● カメラポータル画面	20
設定	24
● プロバイダー登録	24
● インターネットへの接続を確認する	35
● 接続設定管理	36
● PPPoEマルチセッション機能	36
● カメラ設定	40
● カメラ自動登録機能について	41
● 無線設定	46
● みえますねっと設定	54
拡張機能	56
● アドレス変換	56
● UPnP機能	64
● セキュリティ設定	72
● オプション設定	77
● アプリケーション機能	83
管理	86
● パスワード変更	86
● バージョンアップ	87
● バックアップ	89
● 再起動	90
● 初期化	90
● PPPoE接続/切断	91
● Ping	92
情報表示	93
● ステータス	93
● ログ表示	95
● ヘルプ	97

もくじ

その他の機能




初期化.....	98
● 初期化.....	98
● 再起動.....	98
プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定	99
パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには.....	100
● Windows 98/Meの場合.....	100
● Windows XP/2000の場合.....	101
パソコンのIPアドレスを固定するには	102
● Windows 98/Meの場合.....	103
● Windows XP/2000の場合.....	105

その他

壁への取り付け	107
標準設定一覧	108
用語解説	111
仕様.....	117
保証とアフターサービス.....	119
さくいん	120

はじめに

本取扱説明書に使用しているマークについて

-  参照するページを示します。
-  操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
-  便利な使い方やアドバイスなどの関連知識を記載しています。

必要なシステム

項目	概要
OS	Windows® 98、Windows® 2000、Windows® Me、Windows® XP
インターフェース	10/100Mbpsのネットワークカードが内蔵されていること
メモリー	16MB以上
プロトコル	TCP/IPプロトコルがインストールされていること
ウェブブラウザ	Internet Explorer 5.5以降／Netscape Navigator® 4.7以降

※ Netscape Navigator 6.Xは、ウェブブラウザには、おすすめできません。カメラへアクセスしたときに画像の動きが止まり、ウェブブラウザからの命令を受け入れない場合があります。



使用しているパソコンについて不明な点がありましたときは、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンターでは対応しかねますので、直接パソコンメーカーにお問い合わせください。

■ 対応ネットワークカメラ(別売品) (平成15年10月現在)

屋内タイプ

- KX-HCM1 (パン/チルト)
- KX-HCM2 (固定タイプ)
- KX-HCM180 (パン/チルト・ズーム)
- BB-HCM310 (パン/チルト・音声)

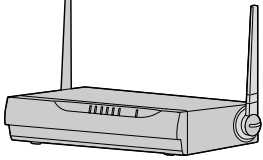
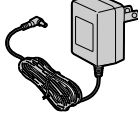

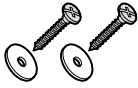

屋外タイプ

- KX-HCM130 (パン/チルト)
- KX-HCM170 (パン/チルト・無線LAN)

はじめに

付属品

ご使用いただく前に、本体と付属品を確認してください。
万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

<p><input type="checkbox"/> 本体 1台</p> 	<p><input type="checkbox"/> ACアダプター 1個 (コード長 約1.8m) (☞ かんたんガイド)</p> 	<p><input type="checkbox"/> イーサネットケーブル (カテゴリー5ストレートケーブル) * ... 1本 (ケーブル長 約1m) (☞ かんたんガイド)</p> 
<p><input type="checkbox"/> 壁掛け用ネジ/ワッシャー 各2個 (ネジサイズ: タッピングネジ) (呼び径3.5×18mm) (☞ 107ページ)</p> 	<p><input type="checkbox"/> コードクランパー 1個 (☞ かんたんガイド)</p> 	<p>* 付属のイーサネットケーブルは本体とパソコンとの接続用です。モデムとの接続には、別途イーサネットケーブル (市販品) が必要です。</p>
<p><input type="checkbox"/> かんたんガイド 1部 <input type="checkbox"/> ご使用の前に/困ったときには 1冊 <input type="checkbox"/> CD-ROM (取扱説明書、設定ガイド、カメラ切断通知アプリケーション操作説明書など) ... 1枚 <input type="checkbox"/> 保証書 1式</p>		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

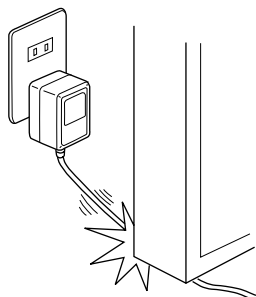
警告

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

【ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない】



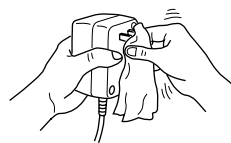
禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ACアダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる



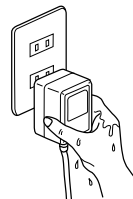
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●ACアダプターをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしない



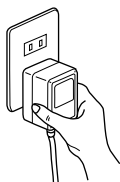
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

警告

ACアダプターのプラグは根元まで
確実に差し込む



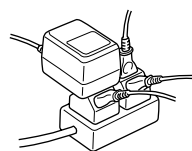
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による
火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用
しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える
使いかたや、交流100V以外での使用
はしない



禁 止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱に
よる火災の原因になります。

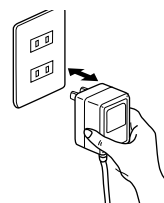
専用のACアダプター（極性統一形
プラグ）以外は使わない



禁 止

専用以外のACアダプターを使用
すると、電圧や+-の極性が異
なっていることがあるため、発
煙・火災の恐れがあります。

ACアダプターを抜き差しする
ときは本体（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から
22cm以上離す



電波によりペースメーカーの作
動に影響を与える場合があり
ます。

医用電気機器の近くでの設置や使用
をしない

〔手術室、集中治療室、CCU*などには持
ち込まないでください。〕



禁 止



本製品からの電波が、医用電気機器に影響を
及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因
になります。

※CCUとは、冠動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器などの自動制
御機器の近くには設置しない



禁 止

本製品からの電波が自動制御機
器に影響を及ぼすことがあり、
誤動作による事故の原因になり
ます。

警告

本製品やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

本製品およびACアダプターをぬらさない



近くに花瓶、コップなどを置かないでください。
発火・感電の原因になります。

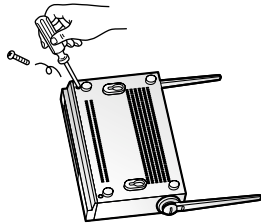
水ぬれ禁止

- ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造をしない



分解禁止



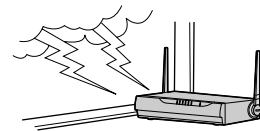
故障したり火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本製品やACアダプターに触れない



接触禁止



感電の原因になります。

CD-ROMは、オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しない



禁止

大音量によって耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

壁に設置時は、ACアダプターを差し込んだあと、落下しないように対策を行う



ACアダプターが落下し、頭などに当たると、けがまたは死亡の原因になります。

⚠ 注意

水平でない場所や振動の激しい場所
には設置しない



落下により、けがの原因になる
ことがあります。

禁止

本製品を壁に取り付けて使用すると
きは、堅固・確実に取り付ける



落下により、けがの原因になる
ことがあります。

水、湿気、ほこり、油煙などの多い
場所（調理台や加湿器のそばなど）
に設置しない



感電・ショートや故障の原因に
なることがあります。

禁止

長期間使用しないときや、お手入れ
するときは、必ずACアダプターを
コンセントから抜く



漏電・感電の原因になること
があります。

電源プラグ
を抜く

ケーブルを引っぱったり、コネク
ター部やアンテナ部に無理な力を
加えない



損傷や感電の原因になることが
あります。

禁止

火気を近づけない



火災の原因になることがあります。

火気禁止

正しくお使いいただくためのお願い

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。

(変形・変色または故障・誤動作の原因になります。)

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。

動作温度：5℃～40℃

動作湿度：20%～85%

ジャック内部に触れないでください。

(故障の原因になります。)

隣接して使用しているラジオやテレビから2m以上離してください。

また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

(ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。)

お手入れの際は、電源を切ってください。

(誤動作の原因になります。)

乾いた柔らかい布でふいてください。

(台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふいてください。)

ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本製品をふかないでください。

(本製品が変形・変色することがあります。)

- 本製品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物(又は技術)に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- 本製品のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

正しくお使いいただくためのお願い

無線通信の使用範囲について

本製品と無線機器の距離が約50cm～120m (屋内見通し距離)・約50cm～600m (屋外見通し距離) の範囲でお使いください。

(無線機器の性能や周囲の環境によっては、使用範囲が狭くなります。)

次のような機器と同時に本製品を使用しないでください。

(電波が混信したり、誤動作の原因になります。)

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置など2.4GHz周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線端末の間に次のような物体があるときは設置場所を変更してください。

(電波を通しにくい物体が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)

- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

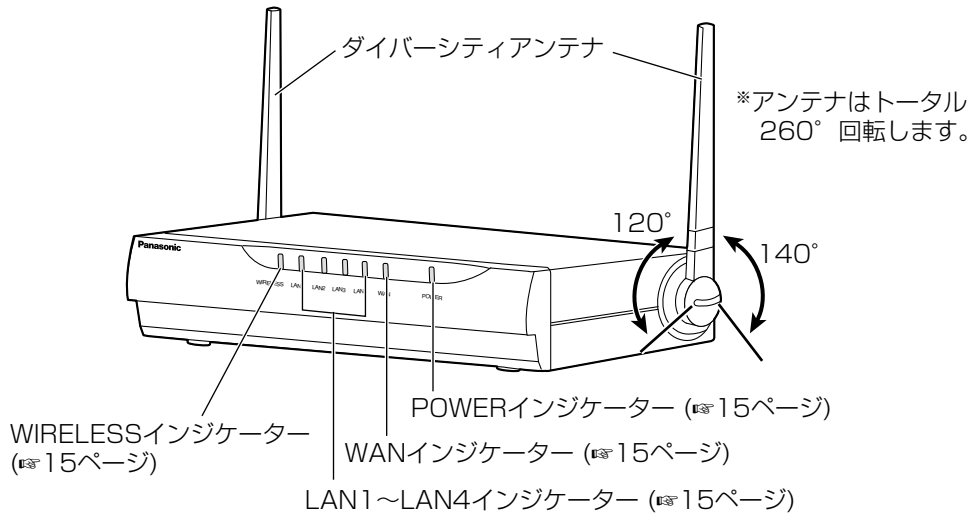
電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

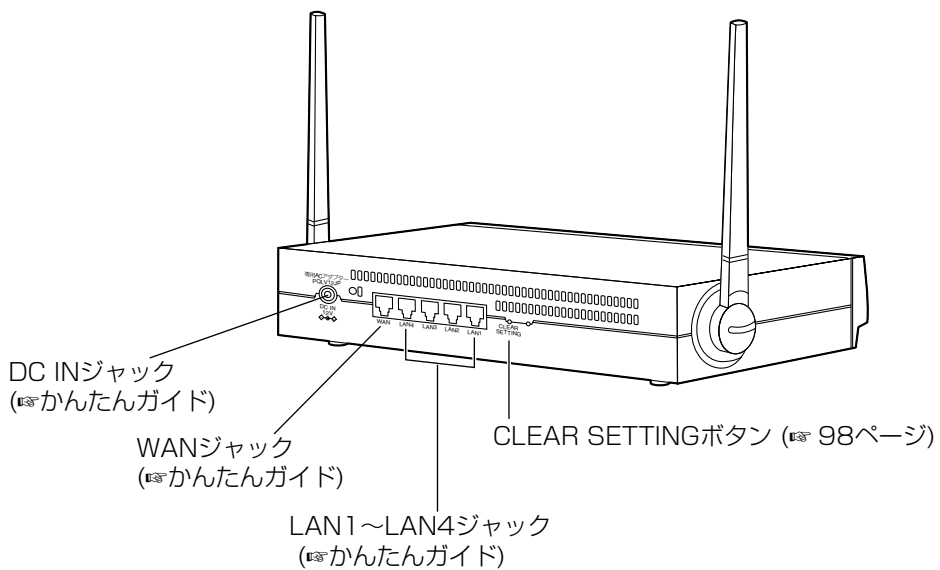
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえで、ネットワークカメラカスタムコンタクトセンター(☎ 119ページ)にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ネットワークカメラカスタムコンタクトセンター(☎ 119ページ)へお問い合わせください。

各部のなまえ

正面



背面



各部のなまえ

インジケーター

インジケーター	点灯色	表示内容
POWER	 緑	電源が入っています。
	 赤	本製品に障害が発生しています。 コンセントからACアダプターを抜き、再度差し込んでください。
	 オレンジ	初期化しています。
WAN	 緑	モデムやイーサネットハブなどに接続されています。
	 緑 (点滅)	回線接続後、データ通信をしています。
LAN1~LAN4	 緑	パソコン、イーサネットハブに接続されています。
	 緑 (点滅)	データ通信をしています。
WIRELESS	 緑	無線端末と接続しています。
	 緑 (点滅)	無線でデータ通信しています。

トップページ

設定方法には、かんたん設定と詳細設定があります。トップページでいずれかの設定方法を選べます。カメラポータル画面は、本製品に接続しているカメラ画像を表示します。

Panasonic
カメラコントロールユニット
BB-HGW501



かんたん設定へ
(☞ 17ページ)

かんたん設定

インターネット接続で必要最小限の設定を行います。

詳細設定へ
(☞ 18ページ)

詳細設定

すべての項目について設定できます。

カメラポータル画面へ
(☞ 20ページ)

カメラポータル画面

BB-HGW501に接続されているネットワークカメラの画像を表示します。
※カメラポータル画面をご使用の際は、必ずセキュリティ設定をご確認ください。
設定は[ここから](#)



本製品のカメラポータル画面からカメラ画像を見るためには、本製品と対応ネットワークカメラ(別売品)との接続が完了している必要があります。詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

かんたん設定

インターネット接続の設定をします。

- 1 **かんたん設定** をクリックする
接続形態を選択する画面が表示されます。

- 2 接続形態を選択して、**次へ** をクリックする



接続形態メニューの中に該当する形態がないときは、手動で登録してください。「手動で登録する」にチェックを入れると、手動登録画面が表示されます。

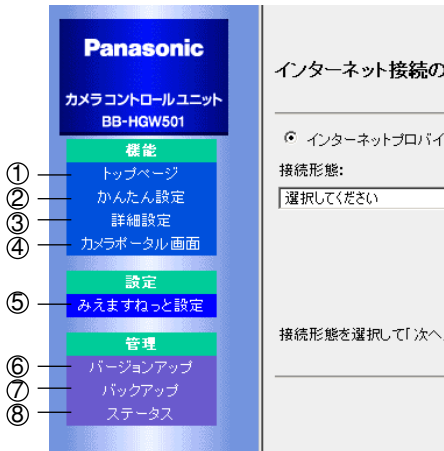
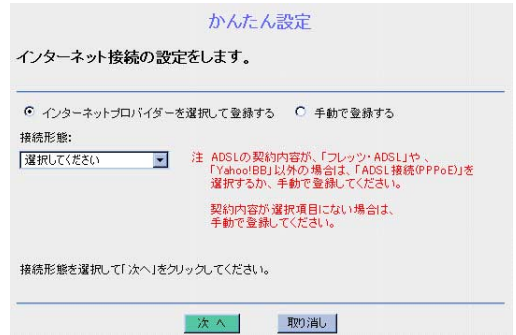
- 3 画面の指示に従って入力する
プロバイダーからの設定情報を参照してください。

- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。

- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする



- 「かんたん設定」で登録したプロバイダーは、設定画面にあるプロバイダー登録モニター中のNo. 1の欄に上書きされます。
- 「かんたん設定」に関する詳細な説明は、「かんたんガイド」を参照してください。



【機能】

- ① **トップページ**： トップページを表示します。
- ② **かんたん設定**： インターネット接続の設定をします。
- ③ **詳細設定**： 設定画面を表示します。すべての項目について設定できます。
- ④ **カメラポータル画面**： 本製品に接続されているカメラ画像を見ることができます。

【設定】

- ⑤ **みえますねっと設定**： みえますねっとの設定を行います。

【管理】

- ⑥ **バージョンアップ**※： ファームウェアを最新版に更新します。
- ⑦ **バックアップ**： 設定をバックアップファイルとして保存したり、バックアップファイルを使って設定を復元します。
- ⑧ **ステータス**： 回線接続状態などの情報を表示します。

※ パナソニックのサポートウェブサイトから最新のファームウェアファイルをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要になります。

詳細設定

パソコンからウェブブラウザを使って設定を行うことができます。
各項目ごとに操作に関するヘルプ画面を参照できます。

機能

- ① トップページ
- ② かんたん設定
- ③ 詳細設定
- ④ カメラポータル画面

設定

- ⑤ プロバイダー登録
- ⑥ 接続設定管理
- ⑦ カメラ設定
- ⑧ 無線設定
- ⑨ みえますねっと設定

拡張機能

- ⑩ アドレス変換
- ⑪ セキュリティ設定
- ⑫ オプション設定
- ⑬ アプリケーション機能

管理

- ⑭ パスワード変更
- ⑮ バージョンアップ
- ⑯ バックアップ
- ⑰ 再起動
- ⑱ 初期化
- ⑲ PPPoE接続/切断
- ⑳ Ping

情報表示

- ㉑ ステータス
- ㉒ ログ表示
- ㉓ ヘルプ

プロバイダー登録

新規登録および編集を行うには、その設定の「登録/編集」をクリックしてください。DHCP接続、Static接続、およびPPPoEセッションの使用接続先を登録、変更する場合は、左メニューの「接続設定管理」をクリックしてください。

注: 設定は登録した「プロバイダー名称」ごとに管理されます。プロバイダーの登録数は最大4つです。

プロバイダー登録モニター

No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2		未登録	登録/編集		削除
3		未登録	登録/編集		削除
4		未登録	登録/編集		削除

ここから、使用接続先を変更することができます。
使用接続先が未使用になる場合は、適切なWAN(インターネット)側接続モードが選択されているか、ご確認ください。

【機能】

- ① **トップページ:** トップページを表示します。
- ② **かんたん設定:** インターネット接続の設定をします。
- ③ **詳細設定:** 設定画面を表示します。すべての項目について設定できます。
- ④ **カメラポータル画面:** 本製品に接続しているカメラ画像を見ることができます。

【設定】

- ⑤ **プロバイダー登録:** インターネットに接続するための基本的な設定をします。
- ⑥ **接続設定管理:** 接続するプロバイダーを設定します。また、PPPoEマルチセッションで接続する場合の詳細設定をします。
- ⑦ **カメラ設定:** カメラ自動登録機能の設定や、手動での追加登録・削除などを行います。
- ⑧ **無線設定:** 無線LANの設定とセキュリティの設定をします。
- ⑨ **みえますねっと設定:** みえますねっとの設定を行います。

機能

【拡張機能】

- ⑩ アドレス変換： WAN (インターネット) 側のグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスを相互変換して、インターネットの端末から本製品のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。
- ⑪ セキュリティ設定： 本製品へのアクセス制限およびフィルタリングの設定をワンタッチで行い、自動的にログを保存します。
- ⑫ オプション設定： LAN側 (ホーム) にアクセスするための設定と、インターネットに接続するための詳細な設定をします。
- ⑬ アプリケーション機能： さまざまなアプリケーションを登録したり、実行したり、削除したりできます。

【管理】

- ⑭ パスワード変更： 設定画面にアクセスするためのユーザー名やパスワードを変更します。
- ⑮ バージョンアップ*： ファームウェアを最新版に更新します。
- ⑯ バックアップ： 設定をバックアップファイルとして保存したり、バックアップファイルを使って設定を復元します。
- ⑰ 再起動： 本製品を再起動します。
- ⑱ 初期化： 本製品を初期化します。設定値が、工場出荷時に設定されている標準設定値 (90ページ) に戻ります。
- ⑲ PPPoE接続/切断： プロバイダーへのPPPoE接続を手動で開始または停止します。
- ⑳ Ping： IPアドレスをもった機器が接続されているか確認します。

【情報表示】

- ㉑ ステータス： 回線接続状態などの情報を表示します。
- ㉒ ログ表示： 「フィルタリングログ」、「UPnPログ」、「PPPoE接続/切断ログ」、「みえますねっとログ」、「メールログ」を表示します。
- ㉓ ヘルプ： 設定画面のコマンドや機能について説明します。

※ パナソニックのサポートウェブサイトから最新のファームウェアファイルをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要になります。

カメラポータル画面

本製品は、ウェブサーバー機能を内蔵しています。カメラポータル画面は、最大16台までのカメラ名と静止画像を一覧表示することができます。

■ LAN (ホーム) 側からカメラ画像を見る

カメラポータル画面へアクセスし、カメラ画像を見ることができます。

1 ウェブブラウザを起動する

2 ウェブブラウザのアドレスバーに
http://bbhgw.setup (: ポート番号) を入力する
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が
80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)
トップページが表示されます。



標準設定では、ウェブブラウザのアドレスバーに**http://192.168.0.254(:ポート番号)**と入力しても、トップページを表示させることができます。

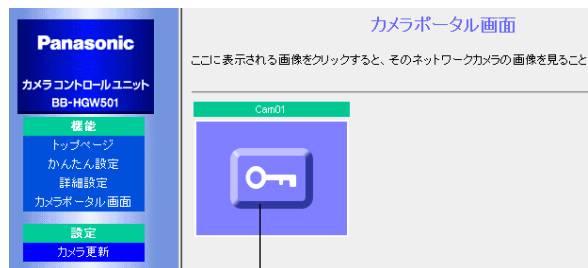
■ トップページが表示されなかった場合

- アドレスバーに**http://bbhgw.setup (: ポート番号)** を正しく入力しているか、確認してください。
- 本製品に接続されているLANジャックに対応したLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- 本製品→パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- トップページにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(P.99ページ)

3 カメラポータル画面 をクリックする



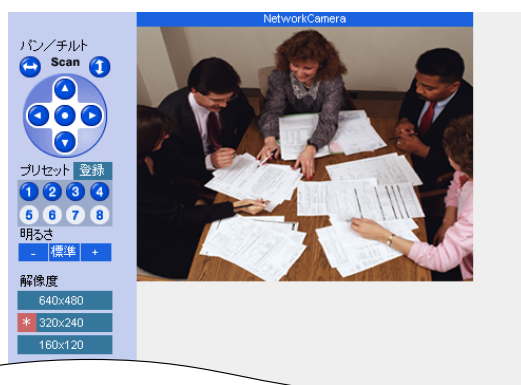
カメラに認証設定がされていると、鍵マークが表示されることがあります。枠をクリックしてそのカメラのユーザー名とパスワードを入力してください。



鍵マーク

4 アクセスしたいカメラ枠をクリックする

認証画面が表示された場合は、カメラのユーザー名とパスワードを入力してください。カメラ画像が表示されます。



- カメラポータル画面を更新するときは、設定画面上の「カメラ更新」をクリックしてください。ウェブブラウザの更新ボタンをクリックすると、カメラ画像が鍵マークに戻ります。
- 一度カメラのユーザー名とパスワードを入力しカメラ画像を表示させたあとは、カメラポータル画面には鍵マークではなく、カメラ画像が表示されます。詳細設定など他の画面を表示させると鍵マークに戻りますが、再度鍵マークをクリックすると認証画面が表示されることなくカメラ画像が表示されます。

■ カメラポータル画面上にカメラ画像が表示されなかった場合

- 本製品に接続されているLANジャックに対応したWANインジケータ、およびLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 99ページ)
- モデム→本製品→パソコンの順で電源を入れたか確認してください。
- カメラポータル画面にカメラ名と マークもしくは白画面が表示されているときは、「カメラ更新」をクリックしてください。

■ WAN (インターネット) 側からカメラ画像を見る

WAN側からカメラポータル画面へアクセスし、カメラ画像を見ることができます。



WAN (インターネット) 側からカメラ画像を見るためには、本製品がWAN (インターネット) に接続されている必要があります。インターネットへの接続方法については、[かんたんガイド](#)または「設定」([P.24](#)ページ)以降を参照してください。

1 ウェブブラウザを起動する

2 ウェブブラウザのアドレスバーに
**http://WAN側のIPアドレスまたは
URL (: ポート番号)** を入力する
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)



WAN側IPアドレスは設定画面のステータスで確認することができます。(P.93ページ)

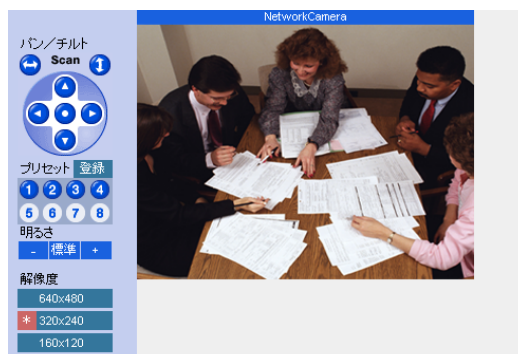
3 を押す



- カメラポータル画面が表示されます。カメラに認証設定がされていると、鍵マークが表示されることがあります。カメラの認証画面が表示される時は、カメラのユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本製品をDHCP接続またはPPPoE接続で使用する場合は、IPアドレスが随時変更されますので、みえますねっとサービスのご利用をおすすめします。詳細は54ページを参照してください。



- 4** アクセスしたいカメラ枠をクリックする
認証画面が表示された場合は、カメラのユーザー名とパスワードを入力してください。カメラ画像が表示されます。



■ カメラポータル画面が表示されなかった場合

- アドレスバーにhttp://WAN側IPアドレスまたはURL (: ポート番号) が正しく入力されているか、確認してください。
- ウェブサイトにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 99ページ)
- カメラポータル画面にカメラ名と マークもしくは白画面が表示されているときは、 をクリックしてください。



カメラポータル画面やカメラの設定を変更する場合は、「カメラ設定」(☞ 40ページ) を参照してください。

設定

プロバイダー登録

プロバイダー登録画面では、本製品と接続するプロバイダーを新規登録したり、編集、削除することができます。インターネットへの接続方法はプロバイダーによって異なります。プロバイダーからの設定情報を見て、接続方法を選択してください。

No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2		未登録	登録/編集		削除
3		未登録	登録/編集		削除
4		未登録	登録/編集		削除

インターネットの接続方法がどれに該当するかなど、サービス内容や契約内容についての詳細はご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

接続方法	説明
DHCP接続 (☞ 25ページ) <ul style="list-style-type: none">● プロバイダーの名称● デバイス名● ゲートウェイ● DNSサーバー1/DNSサーバー2● ドメイン名	プロバイダーがDHCPサーバー機能を利用している場合、基本的に設定値の入力は必要ありませんが、デバイス名、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2、ドメイン名の入力を求められる場合があります。プロバイダーからの設定情報を参照のうえ、必要に応じて入力してください。
Static接続 (☞ 27ページ) <ul style="list-style-type: none">● プロバイダーの名称● IPアドレス● サブネットマスク● ゲートウェイ● DNSサーバー1/DNSサーバー2● ドメイン名	プロバイダーがIPアドレスを指定する場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2を入力してください。プロバイダーから指定がある場合は、ドメイン名を入力してください。
PPPoE接続 (端末型) (☞ 29ページ) PPPoE接続 (LAN型) (☞ 32ページ) <ul style="list-style-type: none">● プロバイダーの名称● ユーザー名/パスワード● サービス名● アクセスコンセントレーター名● DNSサーバー1/DNSサーバー2● ドメイン名● BB-HGW501本体のIPアドレス、サブネットマスク (LAN型接続のみ)	PPPoE接続をする場合、これらに関するデータの入力が必要になります。プロバイダーからの設定情報を参照のうえ、ユーザー名とパスワードを入力してください。プロバイダーから指定がある場合は、サービス名、アクセスコンセントレーター名、DNSサーバー1、DNSサーバー2、ドメイン名を入力してください。

* データ入力欄に設定する内容がない場合は、空欄のままにしてください。

登録を削除するときは、プロバイダー登録画面でその設定の **削除** をクリックします。

→ プロバイダーの登録削除確認画面が表示されます。

削除する場合は **はい** をクリックしてください。

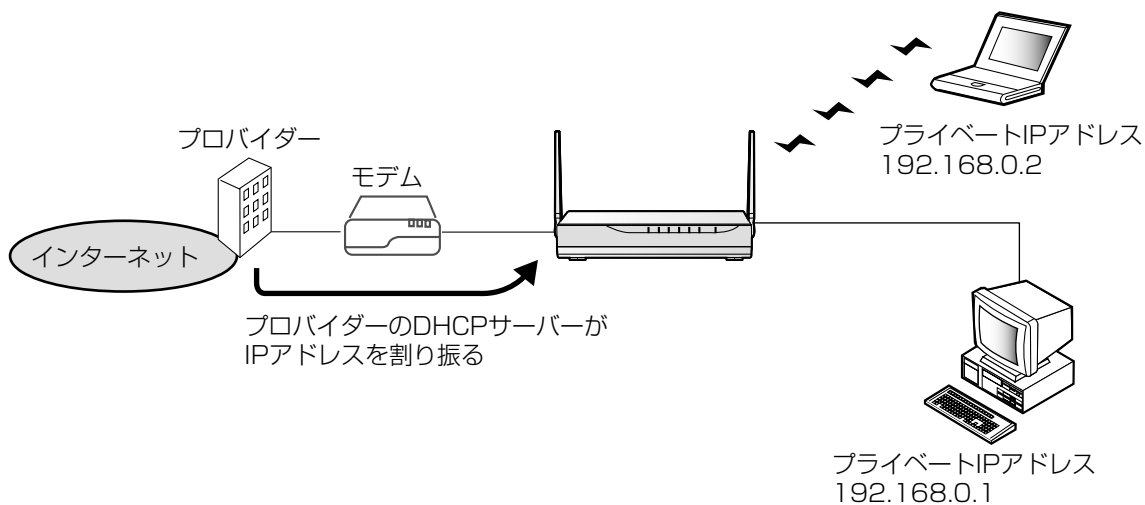
削除しない場合は **いいえ** をクリックします。

→ プロバイダー登録画面に戻ります。

設定

■ DHCP接続 (DHCPサーバーを使ったインターネット接続)の場合

DHCP接続 (プロバイダーからIPアドレスが自動的に割り振られる) は、次の手順に従ってください。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 「**DHCP接続**」 を選ぶ



設定

4 「プロバイダーの名称」を入力する
半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。

5 プロバイダーから指定がある場合は
「デバイス名」※、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1、2」、「ドメイン名」を入力する
プロバイダーからの設定情報を参照してください。
元の設定に戻すには、「**取り消し**」をクリックしてください。

※ 「デバイス名」は、プロバイダーによってはパソコンのコンピューター名入力欄に入力するIDと指示されている場合があります。

6 設定を終えたら、「**保存して接続設定管理へ**」
をクリックする
接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のプロバイダーメニューの
中から利用するプロバイダーを選ぶ

8 設定を終えたら、「**保存**」をクリックする
設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

9 設定画面に「**再起動**」が表示されたら、それ
をクリックする

10 パソコンを再起動する
インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 35ページ)

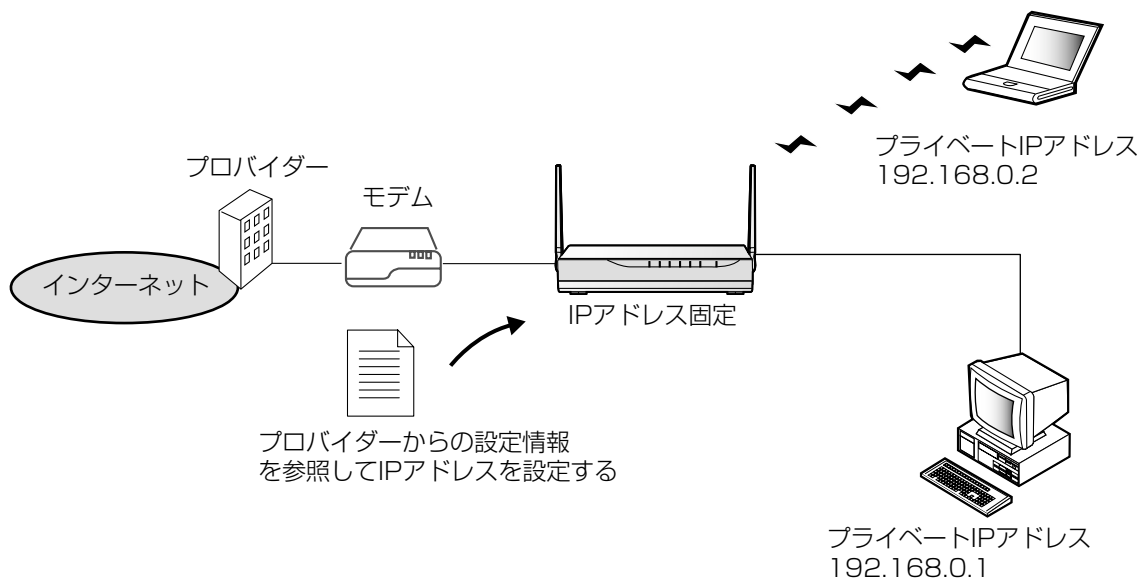


- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。

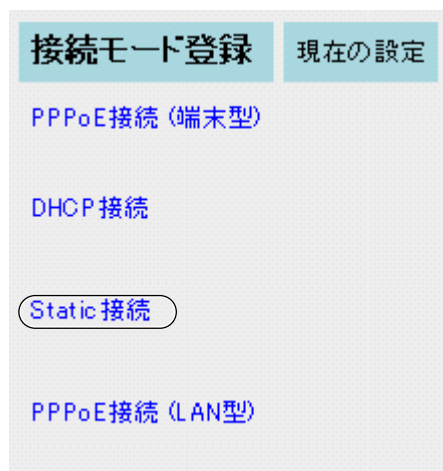
設定

■ Static接続 (IPアドレス固定のインターネット接続) の場合

プロバイダーからの設定情報にIPアドレスやゲートウェイアドレスなどの値を入力するように指示がある場合は、本製品にこれらの値を入力する必要があります。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 「Static接続」を選ぶ



設定

- 4 「プロバイダーの名称」を入力する
半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。

- 5 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1、2」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は「ドメイン名」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。
元の設定に戻すには、「**取り消し**」をクリックしてください。

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称

プロバイダー登録

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

DNSサーバー1

DNSサーバー2

プロバイダーから指定があるときに入力

ドメイン名

保存して接続設定管理へ 取り消し 戻る

- 6 設定を終えたら、「**保存して接続設定管理へ**」をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

- 7 プロバイダー設定のプロバイダーメニューの中から利用するプロバイダーを選ぶ

- 8 設定を終えたら、「**保存**」をクリックする
設定した内容が保存されます。

WAN(インターネット)側 接続モード

接続モード DHCP/Static PPPoE

プロバイダー設定

接続名 プロバイダー選択

DHCP/Static *****

保存 取り消し



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 9 設定画面に「**再起動**」が表示されたら、それをクリックする

- 10 パソコンを再起動する
インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 35ページ)

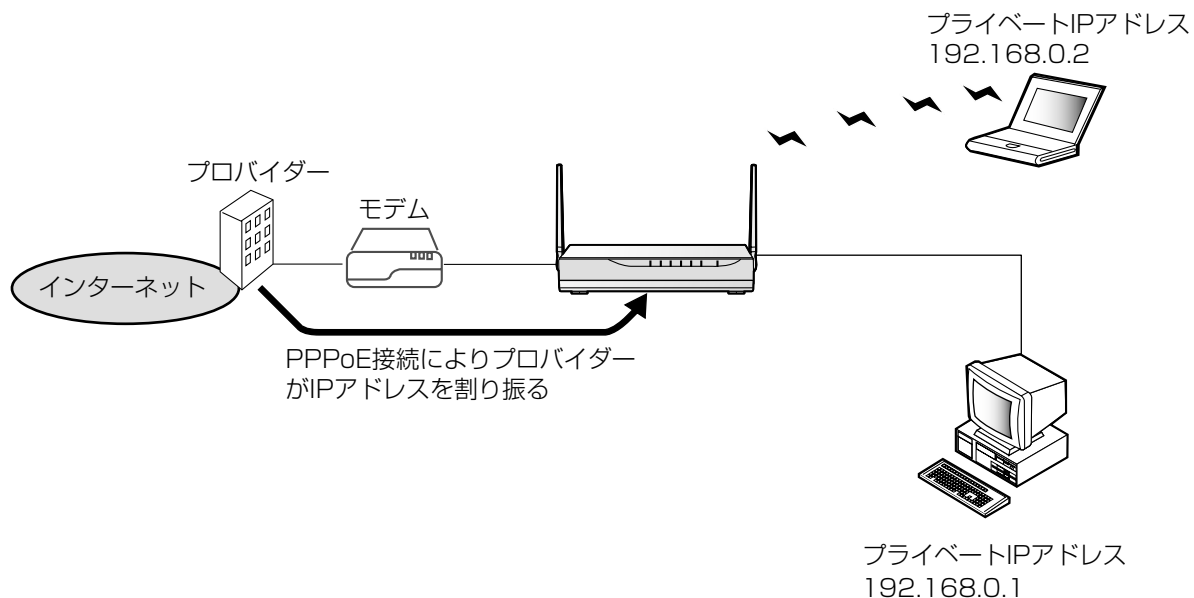


- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。

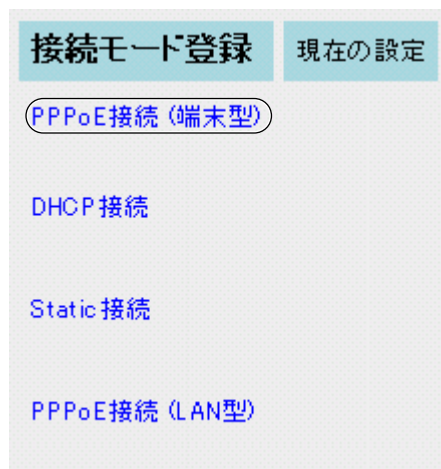
設定

■ PPPoE接続（端末型）の場合

PPPoE接続（端末型）の設定は、次の手順に従ってください。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 「PPPoE接続（端末型）」を選ぶ



4 「プロバイダーの名称」を入力する
半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。

5 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、
プロバイダーから指定がある場合は「サービス名」、
「アクセスコンセントレーター名」、「DNSサーバー1、2」、
「ドメイン名」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。
元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

6 設定を終えたら、**保存して接続設定管理へ**
をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のメインセッションで、利
用するプロバイダーを選ぶ

マルチセッション機能を使用する場合は、サブセッ
ションの設定をします。「PPPoEマルチセッション
機能」(☞ 36ページ) を参照してください。

8 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称

プロバイダー登録

ユーザー名

パスワード

プロバイダーから指定があるときに入力

サービス名

アクセス
コンセントレーター名

DNSサーバー1

DNSサーバー2

ドメイン名

保存して接続設定管理へ 取り消し 戻る

WAN(インターネット)側 接続モード

接続モード DHCP/Static PPPoE

プロバイダー設定

接続名 **プロバイダー選択**

メインセッション

これ以降は、プロバイダーとマルチセッションで使用する
契約を結んだときのみ、設定が必要になります。

サブセッション

サブセッションへの切替ルール

サブセッション (LAN(ホーム)側からWAN(インターネット)側への
パケット通信ルール)

送信元IPアドレス

送信先IPアドレス
またはホスト名

プロトコル

送信先ポート



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

9 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

10 パソコンを再起動する
インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 35ページ)

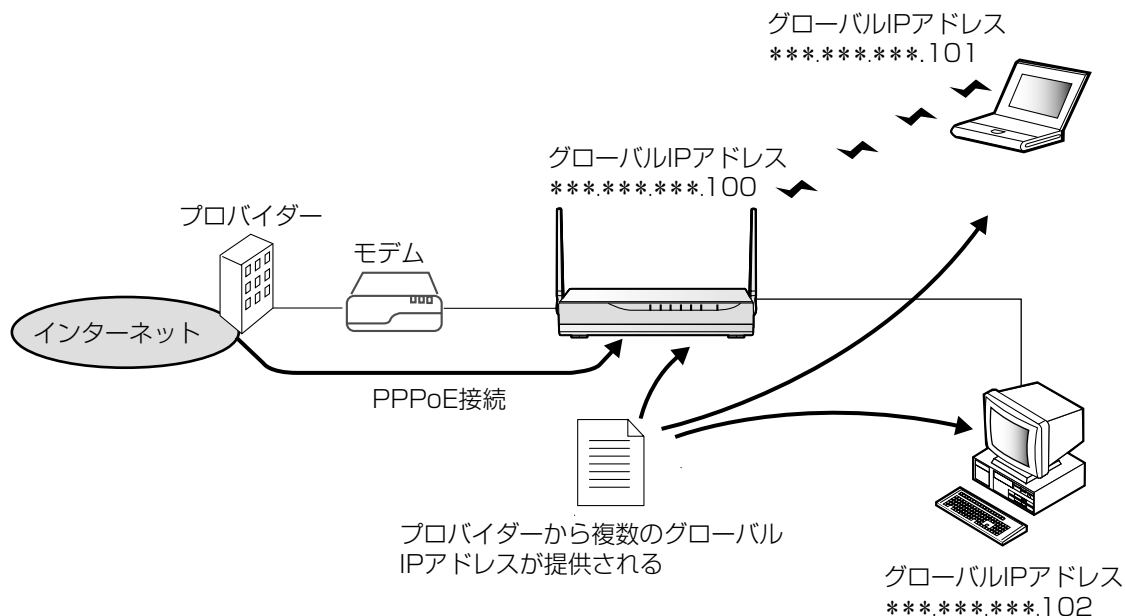


- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。
- 利用するプロバイダーから指示がある場合、MTU値を変更してください。指示がない場合は工場出荷時の標準設定 (1492) のままにしてください。(☞ 81ページ)

設定

■ PPPoE接続 (LAN 型) の場合

PPPoE接続 (LAN 型) は、複数のグローバルIPアドレスをプロバイダーから提供される接続形態です。PPPoE接続 (LAN 型) の設定は、次の手順に従ってください。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 「PPPoE接続 (LAN型)」を選ぶ



4 「プロバイダーの名称」を入力する
半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。

5 「ユーザー名」、「パスワード」、「DNSサーバー1、2」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は「サービス名」、「アクセスコンセントレーター名」、「ドメイン名」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。

BB-HGW501本体のIPアドレスについて

プロバイダーから割り振られたグローバルIPアドレスの1つを「BB-HGW501本体のIPアドレス」に入力してください。本製品からインターネットに直接送信するときに、このIPアドレスを送信元IPアドレスとして使います。

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

6 設定を終えたら、**保存して接続設定管理へ** をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のメインセッションで、利用するプロバイダーを選ぶ

マルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションの設定をします。「PPPoEマルチセッション機能」(※ 36ページ) を参照してください。

8 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称

プロバイダー登録

ユーザー名

パスワード

プロバイダーから指定がある時に入力

サービス名

アクセス
コンセントレーター名

DNSサーバー1

DNSサーバー2

ドメイン名

BB-HGW501本体のIPアドレス

IPアドレス

サブネットマスク

保存して接続設定管理へ 取り消し 戻る

WAN(インターネット)側 接続モード

接続モード DHCP/Static PPPoE

プロバイダー設定

接続名 プロバイダー選択

メインセッション *****

これ以降は、プロバイダーとマルチセッションで使用する契約を結んだときのみ、設定が必要になります。

サブセッション 未使用

サブセッションへの切替ルール

サブセッション (LAN(ホーム)側からWAN(インターネット)側へのパケット通信ルール)

送信元IPアドレス

送信先IPアドレス
またはホスト名

プロトコル *(すべて)

送信先ポート



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

9 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

- 10 パソコンにグローバルIPアドレスを割り振る
- **パソコンにグローバルIPアドレスを固定する**
102ページの「パソコンのIPアドレスを固定するには」を参照してください。
 - **パソコンにプライベートIPアドレスを固定し、静的NATを利用してグローバルIPアドレスを設定する**
102ページの「パソコンのIPアドレスを固定するには」、および59ページの「静的NAT」を参照してください。

11 パソコンを再起動する
インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 35ページ)



- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。

インターネットへの接続を確認する

■ 接続の確認

インターネットに接続するための設定が終わったら、ウェブサイトアクセスしてみてください。ウェブサイトが表示されたら、インターネットに接続されたことになります。

- 1 ウェブブラウザを起動する
- 2 ウェブブラウザのアドレスバーにウェブサイトのアドレス（例 `http://panasonic.jp`）を入力する
ウェブサイトが表示されます。

■ ウェブサイトが表示されなかった場合

- ウェブサイトのアドレスがウェブブラウザのアドレスバーに正しく入力されているか、確認してください。
- 本製品に接続しているWANジャック、LANジャックに対応したWANインジケータ、およびLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- モデム→本製品→パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- ウェブサイトにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。（☞ 99ページ）

設定

接続設定管理

接続設定管理画面では、LAN (ホーム) 側からWAN (インターネット) 側に接続するプロバイダーを選択します。

WAN側接続モード	DHCP/Static接続かPPPoE接続かを選択します。
プロバイダー設定 (DHCP/Static選択時)	使用するプロバイダーを1つ選択してください。
プロバイダー設定 (PPPoE選択時)	PPPoE接続を選択した場合、使用するプロバイダーをメインセッションに設定してください。 PPPoEマルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションにもプロバイダーを設定する必要があります。
サブセッションへの切替ルール	通常のインターネットへの接続は、メインセッションに設定したプロバイダーが使用されます。条件に一致した通信が検出された場合には、サブセッションに設定したプロバイダーが使用されます。

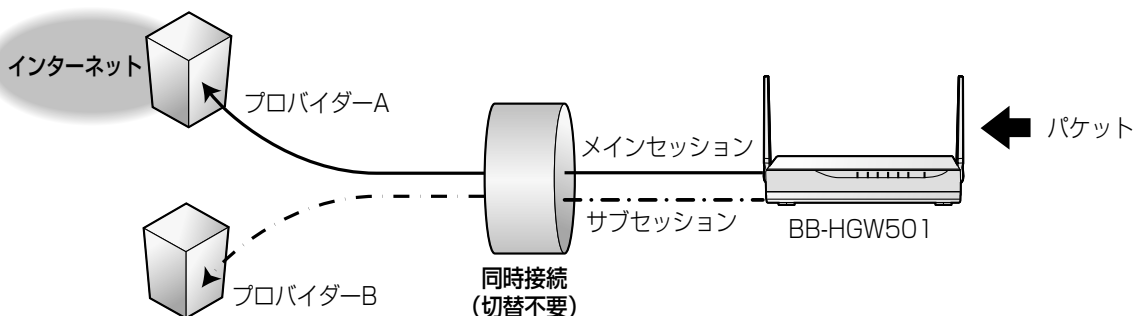
PPPoEマルチセッション機能

本製品はPPPoEマルチセッション機能に対応しており、2つのPPPoE接続を同時に接続することができます。プロバイダーを2つ設定することにより、接続の切り替えをしなくても指定したプロバイダーを利用してインターネットへ接続することができます。NTT東日本エリアでは、フレッツ・ADSLで2セッション、NTT西日本エリアでは、フレッツ・ADSLで1～5セッションが利用できます。ただし、NTT西日本エリアの場合、利用するセッション数によって申込み、またはフレッツ・プラスの契約が必要になります。フレッツ・スクウェアの設定については38ページを参照してください。

(平成15年10月現在)



PPPoEマルチセッション機能を使用するためには、この機能に対応した回線接続業者またはプロバイダーと別途契約する必要があります。詳細は各回線接続業者またはプロバイダーにお問い合わせください。



設定

■ PPPoEマルチセッション設定例

本製品では、PPPoEマルチセッション機能を使用することで、通常のインターネット接続をしたままフレッツ・スクウェアなどへの接続をすることができます。この設定を行うことにより、通常のインターネット接続とフレッツ・スクウェアなどへの接続を、自動的に切り替えることができます。



PPPoEマルチセッションを利用するには、メインセッションの登録が必要です。プロバイダー経由の通常のインターネット接続用設定は必ずメインセッションに設定してください。メインセッションの登録は、下記を参照してください。

- PPPoE接続 (端末型) の場合 (☞ 29ページ)
- PPPoE接続 (LAN型) の場合 (☞ 32ページ)



メインセッション、サブセッションの両方にPPPoE (LAN) 型を設定することはできません。PPPoE (LAN) 型を設定するときは、いずれか一方に設定してください。

IPアドレス指定方法

「送信元IPアドレス」および「あて先IPアドレス」の指定方法です。

IPアドレス	説明
*	すべてのIPアドレス
192.168.1.3	特定のIPアドレス
192.168.1.0/24	192.168.1.0～192.168.1.255までのIPアドレス (24ビットマスク)
192.168.1.3-192.168.1.33	ハイフン "-" 区切り: 192.168.1.3～192.168.1.33までのIPアドレス
192.168.1.3,192.168.1.8, 192.168.1.3-192.168.1.33, 192.168.1.0/24	コンマ "," 区切り: コンマで区切ることでそれぞれを4つまで指定できます いずれもスペースなし

ホスト名指定方法

「あて先ホスト名」としてのみ使用できます。またIPアドレスを用いた指定方法との併用はできません。

ホスト名	説明
.jp	トップレベルドメインのみ指定 日本(jp)サイトすべて
.co.jp	セカンダリレベルドメインまで指定 最後に ".co.jp" がつくサイトすべて
www.panasonic.co.jp	"www.panasonic.co.jp" のみ
.www.panasonic.co.jp	"host1.www.panasonic.co.jp"、"host2.www.panasonic.co.jp" "www.panasonic.co.jp" には該当しない 上の例と "." (ドット)の有無による違いに注意
www.*.co.jp	ワイルドカード使用

設定

ポート指定方法

送信元ポート例	説明
*	すべてのポート
80	特定のポート
80-110	ハイフン“-”区切り: 80~110までのポート番号
80,8080,80-110	コンマ“,”区切り: コンマで区切ることでそれぞれを4つまで指定できます いずれもスペースなし



サブセッションへの切替ルールの設定項目のうちどれか1つでも空欄がある場合、サブセッションへの切替ルールすべてが無視されるため、該当サブセッションの通信は行われません。

<フレッツ・スクウェアの設定例>

プロバイダーのPPPoEアカウントを1つしかもっていなくても、フレッツ・ADSLユーザーであればフレッツ・スクウェアのPPPoEアカウントを無料で利用できます。

- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 接続モード登録画面で PPPoE接続 (端末型) をクリックする
- 4 プロバイダーの名称 (任意の文字列)、ユーザー名、パスワード欄にそれぞれ入力する

設定項目	プロバイダーの名称*	ユーザー名	パスワード
NTT東日本フレッツ・スクウェア	@square	guest@flets	guest
NTT西日本フレッツ・スクウェア	@square	flets@flets	flets

※ ここに示しているプロバイダーの名称は例です。任意の文字列を設定することができます。

- 5 設定を終えたら、**保存して接続設定管理へ** をクリックする
接続設定管理画面が表示されます。
- 6 プロバイダー設定欄のサブセッションに、手順4で登録した@squareを選択する

設定

- 7 サブセッションへの切替ルール欄に下表に示している設定値を入力する

送信元IPアドレス	*
あて先IPアドレスまたはホスト名	.flets
プロトコル	* (すべて)
あて先ポート	*

- 8 設定を確認したら、**保存** をクリックする
内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 9 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

- 10 ウェブブラウザのアドレスバーに
http://www.flets/を入力してフレッツ・スクウェアのウェブサイトが表示できれば正常にサブセッションが確立しています



オプション設定画面にアクセスして、DNSリレーが「使用する」になっていることを確認してください。
(☎ 80ページ)



フレッツ・スクウェアに関しては、以下のウェブサイトを参照してください。
NTT東日本ウェブサイト <http://www.ntt-east.co.jp/flets/>
NTT西日本ウェブサイト <http://www.ntt-west.co.jp/flets/>

設定

カメラ設定

カメラ設定画面では、本製品に接続したカメラの設定を行います。通常は、カメラ自動登録機能により本製品がカメラを認識し、カメラ名やポート番号、IPアドレスを自動で設定するため、設定の必要はありません。カメラ名を変更する場合は、下記の手順に従ってください。またカメラのネットワーク設定を手動で行う場合は、カメラの追加登録の手順に従って、カメラを登録してください。

■ 自動登録されたカメラの設定変更

1 設定画面上の **カメラ設定** をクリックする

2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で設定するカメラのNo.項をクリックする

3 カメラ名を入力し **変更** をクリックする
登録されているカメラを削除する場合は **削除** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

カメラ名変更とカメラの追加登録・削除

表示されているカメラの順序は検出・登録された 順序になります。
画像確認ボタンにて確認しながらカメラ名を設定してください。
No.をクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。

No.	カメラ名	画像確認	自動登録	ポート番号	IPアドレス
1	Cam01	確認	○	60001	192.168.0.113
追加					

カメラ名

ポート番号 60001

IPアドレス 192.168.0.113



- 自動登録されたカメラのポート番号やIPアドレスを変更することはできません。
- 「画像確認」で確認をクリックすると、カメラの画面を表示します。

データ入力欄

カメラ名	カメラ名に入力した名前は、カメラポータル画面のカメラ名として表示されます。 カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
------	--

カメラ自動登録機能について

本製品に当社製ネットワークカメラ（別売品）を接続し、カメラの電源を入れるとIPアドレスやサブネットマスクなどカメラのネットワーク設定と無線のセキュリティ設定を自動で行います。カメラに電源が入ったあと、本製品とカメラが通信を行い、自動的にネットワークの設定を行います。そのあと、カメラ画像がカメラポータル画面に登録されます。

<設定される項目>

BB-HGW501	静的IPマスカレード（ポートフォワーディング） カメラ登録 カメラポータル画面配置
カメラ	ポート番号 IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバーアドレス SSID（無線LANタイプのみ） 暗号化キー（無線LANタイプのみ）

カメラ自動登録機能では、下記順序で各項目を割り振ります。

カメラ名	ポート番号	IPアドレス
Cam01	60001	192.168.0.113
Cam02	60002	192.168.0.114
Cam03	60003	192.168.0.115
⋮	⋮	⋮
Cam16	60016	192.168.0.128



対応ネットワークカメラ（別売品）：屋内タイプ

（平成15年10月現在）

KX-HCM1	（パン／チルト）
KX-HCM2	（固定タイプ）
KX-HCM180	（パン／チルト・ズーム）
BB-HCM310	（パン／チルト・音声）

屋外タイプ

KX-HCM130	（パン／チルト）
KX-HCM170	（パン／チルト・無線LAN）

■ カメラ自動登録機能を使わずにカメラを接続する

- すべてのカメラを手動で登録する場合は、「カメラの追加登録」（☞ 42ページ）を参照のうえ、設定してください。
- 特定のカメラを手動で登録する場合、カメラのネットワーク設定で、「1. セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックをはずしてください。詳細はカメラ取扱説明書の「ネットワーク設定」を参照してください。

設定

■ カメラの追加登録

カメラの追加登録は、次の手順に従ってください。

- 1 カメラ設定画面上の「カメラの自動登録機能の設定」で「**使用しない**」を選ぶ
- 2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で追加をクリックする
- 3 カメラ名、ポート番号、IPアドレスを入力し、**追加** をクリックする
- 4 設定を終えたら **保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

カメラの自動登録機能の設定

使用する 使用しない

カメラ名変更とカメラの追加登録・削除

表示されているカメラの 順序は 検出・登録された 順序になります。
画像確認ボタンにて確認しながらカメラ名を設定してください。
No.をクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。

No.	カメラ名	画像確認	自動登録	ポート番号	IPアドレス
追加					

カメラ名

ポート番号

IPアドレス

新しいユーザー名

新しいパスワード

新しいパスワードの再入力



- カメラにパスワードを設定している場合、右上の画面の「新しいユーザー名」と「新しいパスワード」にカメラと同じ値を入力する必要があります。詳細は、カメラの取扱説明書の「管理者の設定」を参照してください。
- カメラを追加登録した場合、カメラ側の設定も変更してください。詳細は、カメラの取扱説明書を参照してください。
- カメラを追加登録した場合、静的IPマスカレード（ポートフォワーディング）の設定が必要です。57ページを参照のうえ、手動で設定してください。
- カメラを追加登録した場合、カメラポータル画面配置の設定が必要です。43ページを参照のうえ、手動で設定してください。
- IPアドレス (192.168.0.113-192.168.0.128)、およびポート番号は (60000-60119) は本製品で使用されており、カメラの追加登録では使用できません。カメラの自動登録機能で使用されるIPアドレス、番号については41ページを参照してください。

データ入力欄

カメラ名	カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
ポート番号	カメラのポート番号を入力してください。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを入力してください。
ユーザー名	カメラのユーザー名を入力してください。
パスワード	カメラのパスワードを入力してください。

設定

■ カメラポータル画面配置

カメラポータル画面の画面表示形式や画面配置の設定を行います。

1 **カメラポータル画面配置** をクリックする

2 「カメラポータル画面表示形式」で「**カメラ名と静止画（自動更新）**」、「**カメラ名と静止画**」、「**カメラ名のみ**」の中から選ぶ

3 「カメラポータル画面配置」で表示したいカメラ画面枠をクリックし、下部のドロップダウンリストからカメラを選んで **選択** をクリックする

カメラポータル画面からカメラをはずす際は、「**カメラポータル画面からカメラをはずす**」を選択してください。

現在の選択をキャンセルするには、**戻る** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

データ入力欄

カメラポータル画面表示形式	カメラの画面表示形式を「カメラ名と静止画（自動更新）」、「カメラ名と静止画」、「カメラ名のみ」の中から選びます。
カメラポータル画面配置	カメラポータル画面のカメラ画像の配置を変更したり、任意のカメラをカメラポータル画面へ登録します。最大16台のカメラ画像をカメラポータル画面で一覧表示することができます。

設定

■ WAN (インターネット) 側アクセス制御

WAN側からカメラポータル画面へのアクセス制御を行います。設定画面のアクセス制御とは別の設定になります。

1 **WAN (インターネット) 側アクセス制御** をクリックする

2 「フルアクセス」、「パスワードによる保護」、「禁止」の中から1つ選ぶ

「パスワードによる保護」を選択した場合は、右の画面が表示されます。

カメラポータル画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

3 **保存** をクリックする

4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

「パスワードによる保護」に設定した場合はユーザー名とパスワードのダイアログボックスが表示されます。登録したユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

WAN(インターネット)側アクセス制御

フルアクセス WAN(インターネット)側からのカメラポータル画面へのアクセスを許可します。設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワードが必要です。

パスワードによる保護 WAN(インターネット)側からのカメラポータル画面にアクセスするには、WAN(インターネット)側アクセス制御用管理者パスワードが必要です。また、設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワードが必要です。

禁止 WAN(インターネット)側からのカメラポータル画面および設定画面へのアクセスを禁止します。

カメラポータル画面へのパスワードの設定 注:ユーザー名・パスワードは半角英数字10文字以内で設定してください。

新しいユーザー名

新しいパスワード

新しいパスワードの再入力

カメラポータル表示セッションの選択 (PPPoEマルチセッション使用時のみ有効)

メインのみ メインセッションにのみカメラポータル画面へのアクセスを許可します。

サブのみ サブセッションにのみカメラポータル画面へのアクセスを許可します。

メインとサブ両方 メインとサブの両セッションにおいてカメラポータル画面へのアクセスを許可します。

データ入力欄

<WAN (インターネット) 側アクセス制御>

フルアクセス	WAN側からカメラポータル画面へのアクセスを許可します。設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワード (☞ 86ページ) が必要です。
パスワードによる保護	WAN側からカメラポータル画面にアクセスするには、カメラポータルへのパスワードが必要になります。設定画面にアクセスするには、設定画面用 (☞ 86ページ) のパスワードが必要です。
禁止	WAN側からカメラポータル画面へのアクセスをすべて禁止します。



- WAN (インターネット) 側からカメラポータル画面または設定画面へアクセスしたとき、自動的にログが保存されます。保存されたログはフィルタリングログのフィルター番号に"W-B"と表示されます。(☞ 95ページ)
- カメラ画面にアクセスするには、別途カメラのパスワードが必要になる場合があります。

設定

<カメラポータル画面へのパスワードの設定>

カメラポータル画面にユーザー名とパスワードを設定することができます。

新しいユーザー名	15文字までの半角英数字で入力してください。
新しいパスワード	15文字までの半角英数字で入力してください。

<カメラポータル表示セッションの選択>

カメラポータル画面およびカメラ画像をWAN(インターネット)側へ公開する接続先を切り替える機能です。

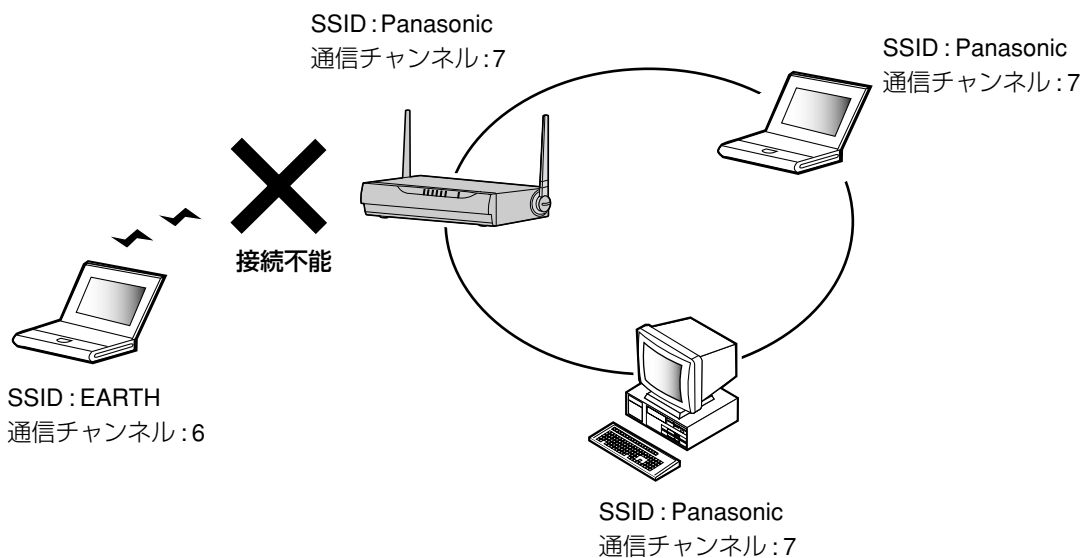
カメラポータル画面およびカメラ画像を無制限にインターネット上で公開せずに、プロバイダーが提供している PPPoEセッションを利用した広域LANサービス（例えば、NTT東日本のフレッツグループアクセス・NTT西日本のフレッツグループなど）を使用して、登録されたグループの中だけでカメラ画像を見ることができるようになります。

メインのみ	WAN側からカメラポータル画面へアクセスするときに、メインセッションからのアクセスのみ許可します。サブセッションからはアクセスできません。
サブのみ	WAN側からカメラポータル画面へアクセスするときに、サブセッションからのアクセスのみ許可します。メインセッションからはアクセスできません。
メインとサブ両方	WAN側からカメラポータル画面へアクセスするときに、メイン・サブセッション両方からのアクセスを許可します。

設定

無線設定

無線設定画面では、無線LANに接続するための設定やセキュリティの設定を行います。無線LANでは、テレビやトランシーバーと同じように電波を使い、通信チャンネルを選択して通信します。また、ネットワークに名前（SSID）をつけます。同じSSIDと同じ通信チャンネルの端末同士でのみ接続することができます。無線LANに接続する機器には同じSSIDと通信チャンネル*を設定してください。



※ 本製品に接続する無線端末は、本製品と同じSSIDが設定されていれば、通信チャンネルを自動的に検索し、通信することができます。



- 工場出荷時に設定してある標準設定値では、機器固有のSSIDと128bit暗号化キーが設定されています。SSIDと128bit暗号化キーの標準設定値は、本製品底面に記載してあります。
- さらにセキュリティを高めるために、SSID (P.48ページ) と128bit暗号化キー (P.49ページ) の標準設定値を変更することを強くおすすめします。
- 当社製無線LANアダプター「BB-HGA100」(別売品) との自動設定機能の手順については、無線LANアダプターのかんたんガイドを参照してください。

1 設定画面上の **無線設定** をクリックする

設定

2 入力欄にSSIDを入力し、「SSID空白のクライアントの接続」と「通信チャンネル」を選ぶ元の設定に戻すには、「**取り消し**」をクリックしてください。

本製品に接続する無線端末にも同じSSIDを入力してください。

工場出荷時に設定しているSSIDの標準設定値は本製品底面に記載されています。

それぞれの入力欄については、48ページを参照してください。

3 設定を終えたら、「**保存**」をクリックする

設定した内容が保存されます。

4 設定画面に、「**再起動**」が表示されたら、それをクリックする




データ入力欄には、スペースを入れないでください。



- 無線端末側で使用している無線LANカードによっては、使用できる通信チャンネルに制限のあるものがあります。無線LANカードの通信チャンネルの範囲を確認して、本製品の通信チャンネルを設定してください。
- カメラなどを自動登録したあとに本製品のSSIDを変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

設定

データ入力欄

SSID	<p>無線LANでは、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSID (ESSID) と呼びます。SSIDは、無線LANに接続できる各端末に設定し、同じSSIDをもつ端末同士でのみ通信ができます。SSIDの入力では、次の規則に従ってください。(標準設定で機器固有のSSIDが入力されています。本製品底面に記載されています。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 半角英数字しか入力できません。● 英字の大文字と小文字は区別されます。 (例) : "TOM" と "tom" は異なる名前と認識される● 32文字まで入力できます。
SSID空白のクライアントの接続	「許可」を選ぶと、SSIDが“ANY”または空欄のパソコンが接続できます。「禁止」を選ぶと、同じSSIDを設定しているパソコンしか接続されません。標準設定では、「禁止」が設定されています。
通信チャンネル	<p>ネットワーク内で通信するチャンネルを設定します。1～14の中から選びます。(標準設定で7が選択されています。) 複数の無線LANで、通信チャンネルが重なると通信速度が下がる場合があります。その場合は、通信チャンネルが重ならないように通信チャンネルを変更してください。</p>  <p>2400MHz 2500MHz</p>



- 本製品と無線端末側で同じSSIDを設定する必要があります。
- 無線LANカードの種類によっては、「SSID空白クライアントの接続」で「禁止」を選ぶと接続できない場合があります。その場合は、「許可」を選んでください。



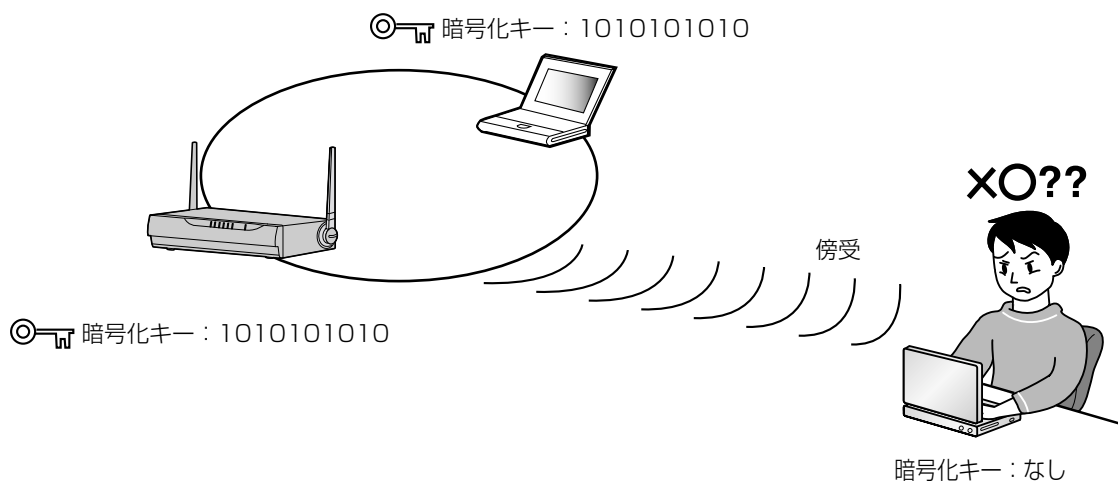
必要に応じて「暗号化」や「MACアドレスフィルタリング」を設定してください。通信データを暗号化するには、「無線設定」画面上の「暗号化」をクリックしてください。(☞ 49ページ) 本製品に登録した無線端末以外が接続できないようにするには、「MACアドレスフィルタリング」をクリックしてください。(☞ 53ページ)

設定

■ 暗号化 (WEP) 設定

無線LAN内で、通信するデータを暗号化することができます。暗号化を行うと、万一無線LANのデータを、他人に読まれても解読することが困難になります。暗号化は、無線LANのすべての端末に同じ暗号化キーを登録して行います。

暗号化設定時の認証方式として、Shared Key方式だけでなく、Open System方式にも対応しています。認証方式の切り替えは、本製品が端末に合わせて自動で行います。



- 工場出荷時に設定してある標準設定値では、機器固有のSSIDと128bit暗号化キーが設定されています。SSIDと128bit暗号化キーの標準設定値は、本製品底面に記載してあります。
- 暗号化キーは、パスワードを指定して作成することができます。暗号化キーは、64bitと128bitの2種類あります。128bitの暗号化キーはさらに安全性が高まります。
- カメラなどを自動登録したあとに本製品の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

1 **暗号化** をクリックする

2 「暗号化方式」のドロップダウンリストから「無効」か「有効 (64bit)」、**「有効 (128bit)」**を選ぶ

「無効」を選んだときは、**保存** をクリックしてください。

暗号化方式の設定

暗号化方式

有効(128bit)

設定

< 「有効 (64bit)」 を選んだ場合 >

3 「入力方法」 のドロップダウンリストから「キー入力」か「パスワード入力」を選ぶ

「キー入力」： 接続する無線端末に、直接暗号化キーを入力する方法です。

「パスワード入力」： 接続する無線端末に同じパスワードを入力して、暗号化キーを自動生成する方法です。

4 ● 「キー入力」 を選んだ場合、キー1～キー4に10桁の16進数 (半角英数字で "0" ~ "9"、"A" ~ "F" または "a" ~ "f") を入力し、標準キーを1つ選びます。

(例) キー1 01-23-45-ab-cd
 キー2 cd-ef-23-45-67
 キー3 ef-67-89-01-ab
 キー4 cd-ab-01-23-45
 標準キー 1

暗号化方式の設定

暗号化方式

暗号化キーの入力方法

入力方法

暗号化キーの設定(64bit)

キー1

キー2

キー3

キー4

標準キーの設定

標準キー



- 設定内容は、本製品を再起動すると* (アスタリスク) で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。
- 接続する無線端末にも同じ暗号化キー1～キー4を入力し、同じ標準キーを選んでください。データ入力欄については52ページを参照してください。



Windows XPでは暗号化キーは、「キーのインデックス」という名称になっています。「キー1」は「インデックス0」、「キー2」は「インデックス1」、「キー3、キー4」は、それぞれ「インデックス2、インデックス3」と表記されています。

- 「パスワード入力」を選んだ場合、右の画面が表示されます。
パスワードを入力し、標準キーを1つ選ぶ

(例) パスワード Panasonic
 標準キー 1

パスワードの設定

パスワード



接続する無線端末にも同じパスワードを入力し、同じ標準キーを選んでください。データ入力欄については52ページを参照してください。

「パスワード入力」、「キー入力」いずれの場合も、元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

5 **保存** をクリックする

6 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする

設定

< 「有効 (128bit)」 を選んだ場合 >

3 「入力方法」 のドロップダウンリストから「キー入力」か「パスワード入力」を選ぶ

「キー入力」： 接続する無線端末に、直接暗号化キーを入力する方法です。

「パスワード入力」： 接続する無線端末に同じパスワードを入力して、暗号化キーを自動生成する方法です。

暗号化方式の設定

暗号化方式

暗号化キーの入力方法

入力方法

暗号化キーの設定(128bit)

キー



工場出荷時に設定してある標準設定値では、機器固有の128bit暗号化キーが設定されています。128bit暗号化キーの標準設定値は、設定画面にも表示されますし、本製品底面にも記載してあります。

4 ● 「キー入力」 を選んだ場合、キー入力欄に26桁の16進数 (半角英数字で "0" ~ "9"、"A" ~ "F" または "a" ~ "f") を入力します。

(例) キー ab-54-ef-87-23
 98-ba-54-fe-10
 cd-76-9c



- 設定内容は、本製品を再起動すると* (アスタリスク) で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。
- 接続する無線端末にも同じ暗号化キーを入力してください。データ入力欄については52ページを参照してください。

- 「パスワード入力」 を選んだ場合、右の画面が表示されます。

パスワードを入力する

(例) パスワード Panasonic

パスワードの設定

パスワード



接続する無線端末にも同じパスワードを入力してください。データ入力欄については52ページを参照してください。

「パスワード入力」、「キー入力」いずれの場合も、元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

5 **保存** をクリックする

6 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする

設定

データ入力欄

暗号化方式	暗号化キーのビット数を選びます。無効→有効 (64 bit) →有効 (128bit) の順で安全性が高まりますが、反対に通信速度が若干低下します。また、Windows XPでは、「64 bit」は「40ビット (10桁)」、「128 bit」は「104ビット (26桁)」と表記されています。 (標準設定で「有効 (128 bit)」が選択されています。)
入力方法	異なる機種 of 無線端末を接続するときは、無線端末によって同じパスワードを入力しても別の暗号化キーが生成される場合があります。その場合は、キー入力で暗号化キーを入力してください。通信したい無線端末と同じ暗号化キーを入力し、標準キーを選んでください。通常は「パスワード入力」を選びます。 (標準設定で「キー入力」が選択されています。)
パスワード	暗号化キーを生成する文字を半角英数字31文字以内で入力してください。英字は大文字と小文字の区別があります。 [スペース]、[]、[]、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:] は使えません。
標準キー	暗号化キーで「有効 (64bit)」を選んだ場合は、4つの標準キーの中から1つを選びます。
暗号化キーの手動設定	暗号化キーを生成する文字を入力します。暗号化キーのビット数により、入力する文字数が異なります。 入力例 64bit 10文字 : 12-34-56-ab-cd 128bit 26文字 : 12-34-56-78-90-ab-cd-ef-12-34-56-78-90 128bitの場合は1つのキーに26桁の16進数を入力してください。 暗号化キーは、半角英数字で“0”～“9”、“A”～“F”または“a”～“f”の使用が可能です。2文字ごとにハイフン“-”で区切ってください。英字の大文字と小文字は区別されます。

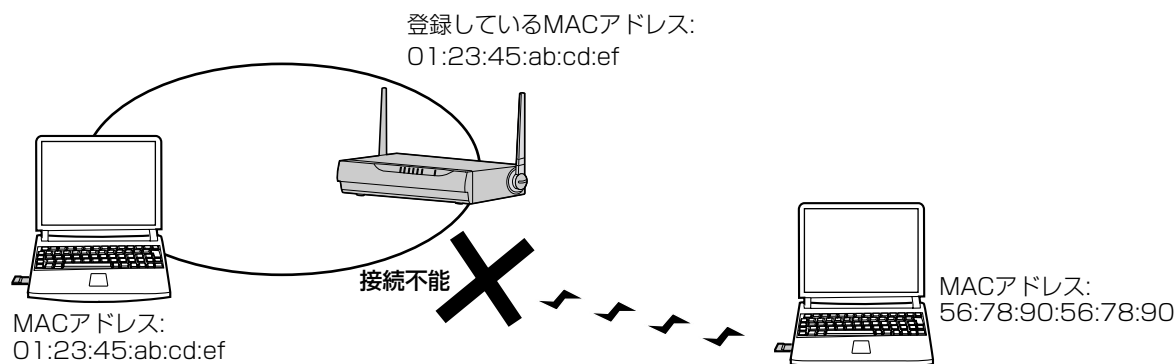


- 無線LANカードによっては、同じパスワードを入力しても別の暗号化キーが生成される場合があります。その場合は、「キー入力」を選択して、同じ暗号化キーを直接入力してください。さらに、暗号方式が「有効 (64 bit)」の場合は、無線LANカードと同じ標準キーを選んでください。
- Windows XPでは暗号化キーにASCII文字を使用できますが、本製品は16進数しか扱えませんので、ASCII文字は使用できません。
- カメラなどを自動登録したあとに本製品の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

設定

■ MACアドレスフィルタリング登録

本製品に登録していないパソコンから本製品に接続できないようにします。各パソコンのネットワークカードには、そのネットワークカードに固有のMACアドレスが登録されています。そのMACアドレスの値を「MACアドレスフィルタリング」に登録すると、登録したMACアドレスをもつパソコン以外は接続できなくなります。各パソコンのMACアドレスの確認のしかたは「パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには」(P.100ページ)を参照してください。



1 **MACアドレスフィルタリング** をクリックする

2 「使用する」を選ぶ

3 「現在の設定」でNo. の「追加」をクリックする

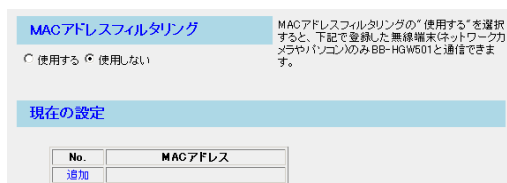
4 MACアドレスをデータ入力欄に入力する

半角数字とA~Fまたはa~fを2文字ずつ「:」で区切って入力してください。

5 **追加** をクリックする

6 **保存** をクリックする

7 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする



みえますねっと設定

WAN (インターネット) 側からカメラ画像を見るには、みえますねっと設定を利用します。みえますねっとサービスからURLを取得して、カメラポータル画面にアクセスしてカメラ画像を見ることができます。みえますねっと設定を利用してWAN側からカメラ画像を見るには、次の手順に従ってください。



みえますねっとサービスは有料サービスです。次の手順は、みえますねっとサービスを有料にて使用される場合のみ行ってください。



Static接続でインターネット接続している場合は、本製品の「基本設定」にて登録したIPアドレスを使用してカメラポータル画面にアクセスできます。みえますねっとサービスに登録する必要はありません。

1 設定画面上の **みえますねっと設定** をクリックする

2 「使用する」を選ぶ

3 E-mailアドレス入力欄に登録用のE-mailアドレスを入力する



カメラをすでにみえますねっとサービスに登録している場合は、本製品にみえますねっと設定を行わないでください。



連絡先E-mailアドレスを入力するとみえますねっとサーバーから登録のご案内メールが送付されます。

4 **保存** をクリックする

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

トップページが表示されます。

6 **かんたん設定** をクリックする

かんたん設定画面が表示されます。

設定

- 7 設定画面上の **「みえますねっと設定」** をクリックする
「取得URL」に仮登録用のURLが、「みえますねっとサービスへのリンク」に申し込み先のURLが、それぞれ表示されます。



「取得URL」、「みえますねっとサービスへのリンク」が表示されるまで数十分かかることがあります。

みえますねっと設定

使用する 使用しない

E-mailアドレス

取得URL http://*****

みえますねっとサービスへのリンク https://*****

- 8 「みえますねっとサービスへのリンク」に表示されているURLをクリックする
- 9 「みえますねっと」の登録手順に従って、本製品を「みえますねっと」に登録する
- 10 インターネットに接続できるパソコンのウェブブラウザに、「取得URL」に表示されているURLを入力する
(例：http://camXXXX.miemasu.net)
カメラポータル画面が表示されます。



「取得URL」はみえますねっとサービスに登録したあとに利用できるようになります。「みえますねっとサービスへのリンク」に表示されているURLをクリックしてください。

アドレス変換

アドレス変換画面では、WAN (インターネット) 側のグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスを相互変換して、インターネットの端末から本製品のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。メールサーバーを立ち上げるときなどIPマスカレード機能、静的IPマスカレード機能を有効にする場合に、設定してください。UPnP対応アプリケーション(Windows/MSN Messengerなど)を利用する場合は、64ページを参照してください。

1 設定画面上の **アドレス変換** をクリックする

2 「有効／無効の設定」で「使用する」か「使用しない」を選ぶ

アドレス変換をセッションごとに「使用する」、「使用しない」を設定します。
WAN (インターネット) 側の1個のグローバルIPアドレスを利用して静的IPマスカレードの設定をする場合は、「**端末型**」をクリックしてください。
WAN (インターネット) 側の複数のグローバルIPアドレスを利用してアドレス変換する場合は、「**LAN型**」をクリックしてください。各セッションでUPnPを利用する場合は、「使用する(UPnP対応)」、UPnPを利用しない場合は、「使用する(ノーマル)」を選んでください。

3 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

端末型のアドレス変換については57ページ、LAN型のアドレス変換については59ページを参照してください。



アドレス変換を行った場合、本製品に接続しているパソコンのネットワーク設定も行き、パソコンを再起動してください。

有効/無効の設定

アドレス変換

DHCP/Static接続

DHCP/Static 使用する (UPnP対応) 使用する (ノーマル) 使用しない

PPPoE接続

メインセッション 使用する (UPnP対応) 使用する (ノーマル) 使用しない

サブセッション 使用する (UPnP対応) 使用する (ノーマル) 使用しない

UPnPポート自動削除設定

タイマー 自動削除まで **無期限**

注: タイマーによりポート登録が削除されたあと、そのポートを使用するアプリケーションを再度ご利用になる場合は、端末側パソコンにてそのアプリケーションソフトを終了させ立ち上げ直してください。

DMZ機能

ホストIPアドレス

注: DMZを使用する場合、指定したIPアドレスに対してはフィルタリング設定が無効になるので、セキュリティの脆弱性を伴います。→ [詳しくはこちら](#)

保存 **取り消し**

拡張機能

■ 端末型アドレス変換

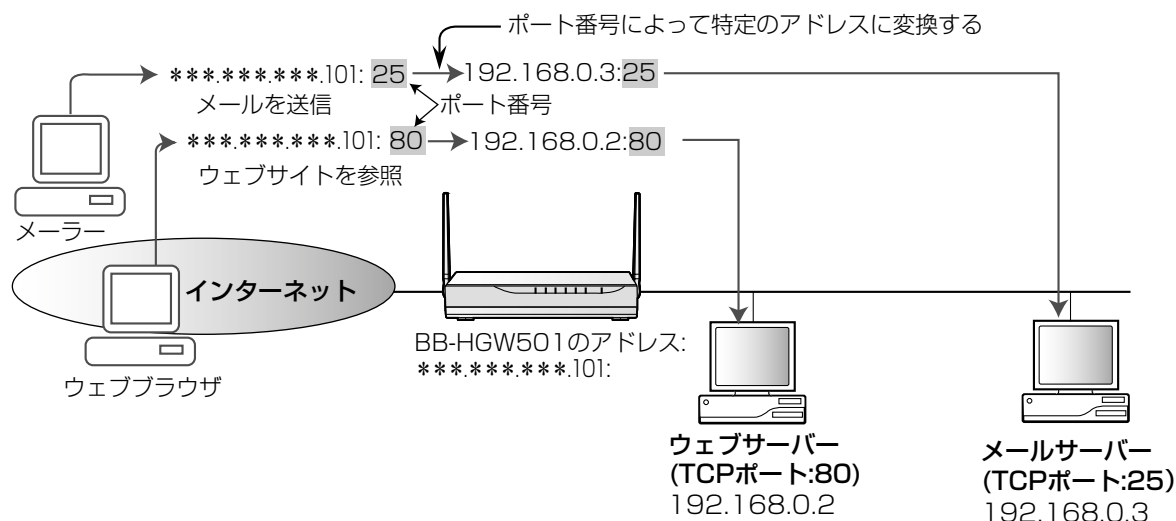
静的IPマスカレード（ポートフォワーディング）

WAN（インターネット）側のパソコンからアプリケーションを使ってLAN（ホーム）側のサーバーに通信が行われると、パケットが本製品に送られます。パケットにはアプリケーションが使用するポート番号がついており、本製品がパケットを特定のパソコンに転送します。静的IPマスカレードの機能を利用するには、アプリケーションが利用するポート番号*を調べ転送対象ポート入力欄に入力し、転送先IPアドレス入力欄に対応するパソコンのIPアドレスを入力してください。

※主なアプリケーションとポート番号について

ウェブサーバー：TCP/UDP 80番、FTPサーバー：TCP/UDP 20番と21番、

Telnet：TCP/UDP 23番、SMTPサーバー：TCP/UDP 25番、POP3サーバー：TCP/UDP110番



LAN（ホーム）側に別途ウェブサーバーを設置する場合は、そのサーバーのポート番号と本製品設定画面のポート番号（標準設定：80）と重ならないように設定する必要があります。オプション設定画面で本製品設定画面のポート番号の値を変更してください。（※ 77ページ）

設定例：

プライベートIPアドレスが192.168.0.2のパソコンにウェブサーバーを立ち上げてウェブサイトを公開する場合、TCPプロトコル、ポート番号：80（HTTPサービスポート番号）と192.168.0.2（プライベートIPアドレス）を入力してください。

プライベートIPアドレスが192.168.0.3のパソコンにメールサーバーを立ち上げる場合、TCPプロトコル、ポート番号：25（メールサービスポート番号）と192.168.0.3（プライベートIPアドレス）を入力してください。

設定例：

No.	エントリー	対象接続	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	転送先 IPアドレス
1	有効	*	TCP	80	192.168.0.2
2	有効	*	TCP	25	192.168.0.3

拡張機能

優先順位の変更

静的IPマスカレードのエントリーを追加すると「優先順位の変更」の設定欄が表示されます。エントリーNo.の小さい順に、静的IPマスカレードの処理を行います。エントリーの優先順位を変更するには、移動する項目のエントリーNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリーNo. を、入力欄に入力して **移動** をクリックしてください。そのあと、**保存** をクリックし、設定画面に **再起動** が表示されたらそれをクリックしてください。

優先順位の変更

優先順位の変更: No. と No. の優先順位を入れ替えます。 **移動**

保存 **取り消し**



- データ入力欄には、スペースを入れないでください。
- 「パソコンのIPアドレスを固定するには」(☞ 102ページ) を参考にTCP/IPの設定を行ってください。



静的IPマスカレードの転送先IPアドレスに設定したネットワーク機器は、設定したプロトコル、ポートを通じてインターネットからアクセスすることができます。

データ入力欄

エントリー	「有効」または「無効」を選びます。「有効」を選んだ場合、エントリーはテーブル(対象接続、プロトコル、転送対象ポート、転送先IPアドレス)に設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
対象接続	1はメインセッション、2はサブセッションを表わします。「*」を選ぶと、PPPoE全セッションおよびDHCP/Static接続が対象となります。
転送対象プロトコル	インターネットでデータを送受信する際に使うプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、ICMP、PPTPの中から選ぶことができます。
転送対象ポート	インターネットでデータを送受信する際に使うポートを指定します。ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。 <ul style="list-style-type: none">● ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。● ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。
転送先IPアドレス	本製品に接続されたパソコンのプライベートIPアドレスを設定します。インターネットからのデータは、このIPアドレスに送られます。対応するパソコンのIPアドレスをこの値に固定してください。



このテーブルを設定すると、インターネットから転送対象ポートへ不正アクセスされる可能性があります。安全のため、必要なときのみ設定してください。

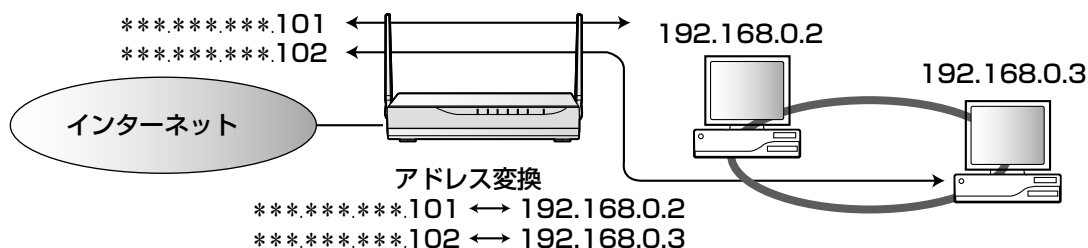
拡張機能

■ LAN型アドレス変換

プロバイダーから複数のグローバルIPアドレスを提供されているとき、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの相互変換の設定を行います。

静的NAT

提供されているグローバルIPアドレスと、本製品に接続しているパソコンのプライベートIPアドレスを1対1で対応させます。



設定例：

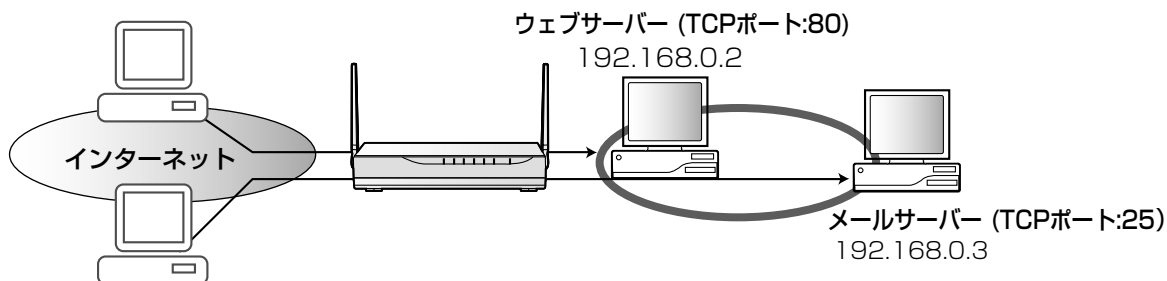
グローバルIPアドレス***.***.***.101とプライベートIPアドレス192.168.0.2を、***.***.***.102と192.168.0.3をそれぞれ1対1で対応させる場合は、次のように入力してください。必ず転送対象プロトコルに「*」を選び、転送対象ポートに「*」を入力してください。入力後、転送対象ポート欄には「0-65535」と表示されます。

No.	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	***.***.***.101	*	0-65535	192.168.0.2
2	有効	***.***.***.102	*	0-65535	192.168.0.3

拡張機能

静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)

1つのグローバルIPアドレスを使って、WAN (インターネット) 側のパソコンから、本製品に接続している複数のパソコンを参照することができます。



設定例：

グローバルIPアドレス ***.***.***.101 を通して、192.168.0.2 や 192.168.0.3 のパソコンを参照させるには、次のように入力してください。

No.	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	***.***.***.101	TCP	80	192.168.0.2
2	有効	***.***.***.101	TCP	25	192.168.0.3



「パソコンのIPアドレスを固定するには」(☞ 102ページ) を参考にTCP/IPの設定を行ってください。

優先順位の変更

静的アドレス変換のエントリーを追加すると「優先順位の変更」の設定欄が表示されます。エントリーNo. の小さい順に静的アドレス変換の処理を行います。エントリーの優先順位を変更するには、移動する項目のエントリーNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリーNo. を右の入力欄に入力して、**移動** をクリックしてください。そのあと、**保存** をクリックし、設定画面に **再起動** が表示されたらそれをクリックしてください。

優先順位の変更

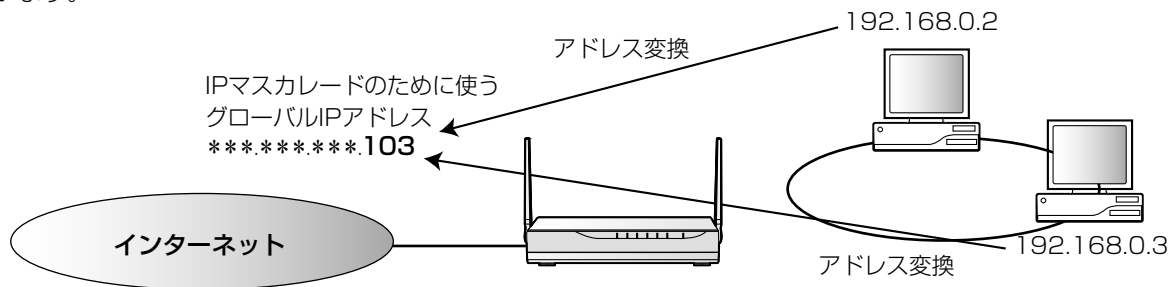
優先順位の変更: No. と No. の優先順位を入れ替えます。 **移動**

保存 **取り消し**

拡張機能

IPマスカレード

1つのグローバルIPアドレスを使って、複数のパソコンからインターネットに接続するとき、この機能を使います。



設定例：

機能	No.	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
静的 アドレス変換	追加					
IPマスカレード			*****.103	-	-	(注)

データ入力欄

エントリー	「有効」または、「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリーはテーブル（プロトコル、転送対象ポート、転送先IPアドレス）に設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
WAN側IPアドレス	インターネットでデータのやり取りをするグローバルIPアドレスを入力してください。
転送対象プロトコル	インターネットでデータを送受信する際に使うプロトコルを選んでください。TCP、UDP、TCP&UDP、ICMP、PPTP、*（すべて）の中から選ぶことができます。
転送対象ポート	インターネットでデータを送受信する際に使うポートを指定してください。ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。 <ul style="list-style-type: none">● ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。● ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。● 転送対象プロトコルに「*」を選んだ場合は、ポート番号にも必ず「*」を入力してください。

拡張機能

LAN (ホーム) 側IPアドレス	本製品に接続したパソコンのプライベートIPアドレスを設定してください。インターネットからのデータは、このIPアドレスに送られます。この場合、対応するパソコンのIPアドレスをこの値に設定してください。
IPマスカレード	静的アドレス変換のエントリーに設定していないプライベートIPアドレスをもつ複数のパソコンからインターネットに接続するとき、ここに入力したグローバルIPアドレスに変換され、使用されます。何も入力していないと、プロバイダー登録画面で指定したグローバルIPアドレス、またはプロバイダーが割り振るIPアドレスが使用されます。

LAN型の設定で注意すること

- WAN (インターネット) 側のIPアドレスが異なるとき、LAN (ホーム) 側のIPアドレスを重複させることができません。

No.	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.2
2	有効	xxx.yyy.zzz.101	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.102	TCP	30	192.168.0.2

← 同一のアドレスを
入力しない

- 転送対象プロトコルと転送対象ポートの両方を「*」に設定した場合は、その設定が優先されるため、その他の設定が無視される場合があります。

特定のポートを使用するバケットは、192.168.0.1~3に転送し、それ以外のポートは192.168.0.4に転送する場合、転送対象プロトコルと転送対象ポートの両方に「*」を入力すると、4番目の設定が優先されるので上の3つの転送設定が処理されません。

No.	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	30	192.168.0.3
4	有効	xxx.yyy.zzz.100	*	0-65535	192.168.0.4

← この設定が優先される

↑ ↑ 「*」と「0-65535」のとき、静的NATとして処理し、上の行の設定が無視されてしまいます。

この場合、下図のように転送対象プロトコルと転送対象ポートを設定すると、上の行から順番に処理されます。

No.	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	30	192.168.0.3
4	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	40	192.168.0.4

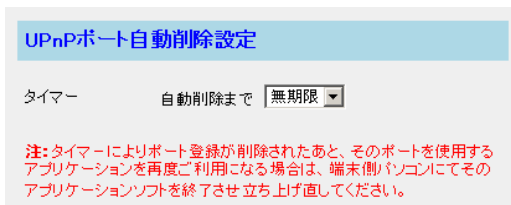
↑ TCPを選択

拡張機能

■ UPnPポート自動削除設定

Messenger対応の機能により動的に開いたポートを削除するための時間を設定します。1～24時間の範囲で1時間単位で設定できます。“無期限”に設定するとポートの自動削除は行われません。この場合、ポートを削除するには本製品を再起動するか、ステータス内のUPnPポートマッピングテーブルを表示して **テーブル削除** をクリックし、手動で削除を行う必要があります。

- 1 タイマーのプルダウンメニューから時間を選ぶ
- 2 設定を終えたら、**保存** をクリックする
- 3 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする



拡張機能

UPnP機能

本製品はUPnPに対応したアプリケーションやUPnP対応機器を利用できます。UPnP機能は、有線で接続したパソコン、無線で接続したパソコンのいずれからでも利用できます。



UPnP機能は、各接続（DHCP/Static/PPPoE）でアドレス変換を使用している場合に有効です。

■ UPnPについて

UPnP Forum IGD (Internet Gateway Device) 1.0に準拠し、NATトラバーサル機能*に対応しています。これによって、本製品のLAN側に接続した複数台のパソコンから同時にWindows/MSN Messengerを利用できます。

※NATトラバーサル機能

ネットワーク認識アプリケーションが、NATデバイスの配下にあることを検出し、外部IPアドレスを識別して、外部ポートから内部ポートへパケットを転送するポートマッピングを設定できる一連の機能のことです。

■ UPnP機能を利用できるOS（平成15年10月現在）

UPnP機能に対応しているOSは以下のとおりです。

- Windows XP
- Windows Me



Windows 98とWindows 2000は、MSN Messengerを利用することで本製品のUPnP機能を利用することができますが、UPnPの正式対応OSではないため、動作を保証するものではありません。

■ UPnP対応アプリケーション

平成15年10月現在、動作を確認しているUPnP対応アプリケーションは以下のとおりです。

- MSN Messenger 5.0以降、Windows Messenger 4.7以降（Windows XP）
Windows MessengerはWindows XPに標準搭載されており、MSN Messengerはマイクロソフトのウェブサイトからダウンロードできます。「インスタントメッセージ」、「音声チャット」、「ビデオチャット」、「ファイルまたは写真の送信」、「リモートアシスタンス」、「アプリケーション共有」、「ホワイトボード」、「電話をかける」（MSN Messengerのみ）などの機能があります。
- MSN Messenger 5.0以降（Windows XP以外）
Windows 98/Me またはWindows 2000で利用可能です。「インスタントメッセージ」、「音声チャット」、「ファイルまたは写真の送信」、「電話をかける」などの機能があります。



- Windows/MSN Messengerを利用するパソコンには、DirectX® 8.1以降がインストールされている必要があります。
- 「電話をかける」機能を利用する場合には、マイクロソフトのウェブサイトから“Windows Messengerのオーディオに関連するアップデート”を行う必要があります。

拡張機能

■ UPnP機能を利用できるパソコンの台数

最大5台のパソコンから同時にWindows/MSN Messengerを利用することができますが、利用する機能によっては同時接続可能端末数が5台に満たない場合があります。



- Windows/MSN Messengerは、自動的にポートとIPアドレスの割り振り（UPnPポートマッピング）を行う仕様です。
- UPnPで設定可能なポートマッピング数は各セッションで128件です。

■ パソコンの準備

<Windows XPの場合>

● Windows Messengerを利用する場合

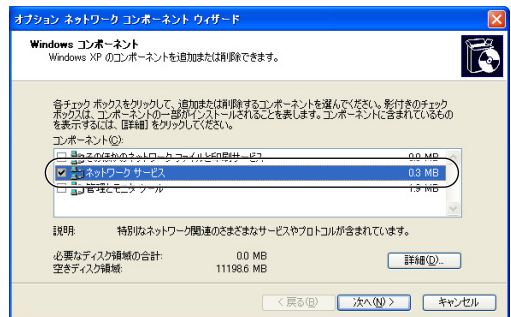
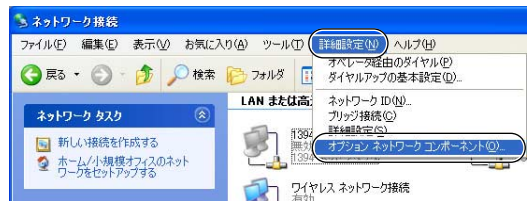
Windows Messengerのヘルプメニューから「Windows Messengerのバージョン情報」を選択します。MSN Messengerのバージョンが4.7より古い場合にはバージョンアップしてください。

● MSN Messengerを利用する場合

MSN Messenger (Windows XP版) をマイクロソフトのウェブサイトからダウンロードしてインストールする。

UPnPの設定

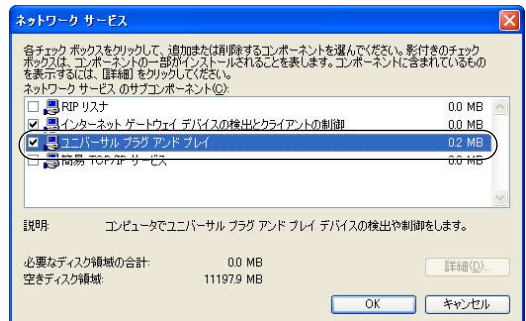
- 1 「スタート」メニューの「マイコンピュータ」から「マイネットワーク」を選び、「ネットワーク接続を表示する」を選ぶ
- 2 「詳細設定」メニューから「オプションネットワークコンポーネント」を選ぶ
- 3 「ネットワークサービス」を選び **詳細** をクリックする



- 4 「ネットワークサービス」の画面で「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認する

チェックが入っていない場合は、チェックを入れて **OK** をクリックします。

Windows XPのCD-ROMを要求されたときは、画面の指示に従って操作してください。



拡張機能

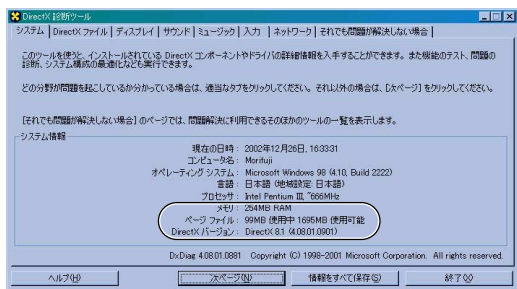
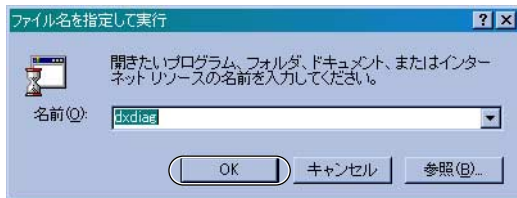
<Windows Me、Windows 98、Windows 2000の場合>

MSN Messengerのバージョンを確認する

MSN Messengerのヘルプメニューから「MSN Messengerのバージョン情報」を選択します。MSN Messengerのバージョンが5.0より古い場合にはバージョンアップしてください。

DirectXのバージョン確認

- 1 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選択する
- 2 名前欄に「dxdiag」を入力して **OK** をクリックする
- 3 DirectXのバージョンが8.1より古い場合はバージョンアップする
画面に従って操作してください。



UPnPの設定 (Windows Meのみ設定)



Windows 98、Windows 2000にはこの設定はありません。

- 1 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして、「Windowsファイル」タブをクリックする
- 3 「コンポーネントの種類」で「通信」を選択して **詳細** をクリックする

「コンポーネントの種類」の画面で「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認してください。

チェックが入っていない場合は、チェックを入れて **OK** をクリックします。

Windows MeのCD-ROMを要求されたときは、画面の指示に従って操作してください。



■ Windows/MSN Messengerを利用する

<Windows/MSN Messenger対応アドレス変換の設定 (UPnP設定) >

- 1 設定画面上の **アドレス変換** をクリックする
- 2 アドレス変換の「有効/無効の設定」で「使用する (UPnP 対応)」をクリックする
- 3 「UPnPポート自動削除設定」の時間を設定する

UPnP対応の機能により、動的に開いたポートを削除するための時間を設定します。1時間から24時間の範囲の1時間刻みで設定できます。「無期限」に設定するとポートの自動削除は行われません。



- ポートが登録されてからは、上記で設定した時間が経過したら、強制的にポートが削除されます。アプリケーションの使用/未使用にかかわらず時間が経過すれば、ポートが閉じます。
- 音声チャットなどを24時間以上断続的に利用するときは、タイマー値を無期限にしてください。この場合、ポートを削除するには本製品を再起動するか、ステータス内の「UPnP ポートマッピングテーブル」を表示して「テーブル削除」を実行し、手動で削除を行う必要があります。(※ 93ページ)
- UPnPポート自動削除設定はアドレス変換のUPnP対応時のみ有効になります。

- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

5 設定画面に、**再起動**が表示されたら、それをクリックする



- アドレス変換の設定を変更した場合、本製品に接続しているパソコンの設定も行い、パソコンを再起動してください。
- UPnPポート自動削除設定の設定が無期限の場合、UPnPでオープンされた外部ポートは、アプリケーションからの削除要求か、アプリケーションで登録した有効期間が満了する以外は閉じられません。セキュリティの面から、Windows/MSN Messengerを使用する場合は、自動削除するようにタイマーを設定してください。

なお、Windows/MSN Messengerを起動している状態でタイマーによるポート削除によりリンクが切れた場合は、Windows/MSN Messengerをいったん終了してから起動し直してください。Windows/MSN Messengerをサインインし直すだけでは正常に動作しませんのでご注意ください。

■ UPnP関連情報の表示

<UPnPログ>

Windows/MSN Messengerが本製品に対して行ったポートマッピングの状況について表示します。あらかじめ拡張機能の「アドレス変換」で、「使用する (UPnP 対応)」に設定する必要があります。(P.56ページ)

Windows/MSN Messengerが本製品に対して行ったリクエストのログを、最新のものから表示します。最大ログ件数は100件です。100件を超えた場合は古いものから順に消去されます。また、本製品を再起動するとUPnPログ情報は消去されます。

UPnPログの確認方法については、96ページを参照してください。

拡張機能

■ その他

<動作環境>

UPnPでWindows/MSN Messengerを利用する場合、通信する相手の環境によって動作環境に制約があります。



Windows/MSN Messenger機能を使う際、本製品では問題ありませんが、他の環境によっては通信できない場合があります。例えば通信相手がUPnPに対応していないルーターを使用している場合や、プライベートIPアドレスを付与するプロバイダ経由で接続している場合などです。

<本製品接続時のパソコン画面について>

次の手順はWindows Meを使った場合です。

- 1 本製品にUPnPがONに設定されたパソコンを接続する
パソコンのマイネットワーク上とタスクトレイ上に本製品のアイコンが表示されます。
 - アイコンは、Windows 98、Windows 2000では表示されません。
 - タスクトレイアイコンは一度だけ表示され、二度目の接続では表示されません。



- 2 タスクトレイ上のアイコンをクリックする
デスクトップ上にショートカットアイコンを作成するか聞いてきます。 **はい** を押すとデスクトップ上にアイコンが作成されます。
- 3 マイネットワーク上のアイコンもしくはデスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックする

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力すると、本製品の設定画面が表示されます。



拡張機能

機能名称	Windows XP		Windows 98/2000/Meの場合
	Windows Messenger 4.7	MSN Messenger 5.0	MSN Messenger 5.0
インスタントメッセージ	設定によらず使用可	設定によらず使用可	設定によらず使用可
音声チャット	使用可	使用可	使用可
ビデオチャット	使用可	使用可	機能なし
ファイルまたは写真の送信	使用不可	使用可	使用不可
ホワイトボード	使用可	使用可	機能なし
アプリケーション共有	使用可	使用可	機能なし
リモートアシスタンス	使用可	使用可	機能なし
電話をかける	機能なし	使用可*	使用可*

※ 本製品を通過した過去の通信や、サーバーの状態により電話ができないと判断される場合があります。



Windows/MSN Messengerの各機能については、Windows/MSN Messengerのヘルプを参照してください。

拡張機能

■ DMZ機能

DMZ (DeMilitarized Zone) 機能を利用すると、WAN (インターネット) 側からLAN (ホーム) 側へ送られたあて先不明のパケットを、DMZで設定した特定のIPアドレスへ転送することができます。DMZによって転送されるパケットは、すべてのセキュリティフィルターを通過して、設定されたIPアドレスへ転送されます。

- 1 設定画面上の **アドレス変換** をクリックする
- 2 DMZ機能のホストIPアドレス欄に、転送先IPアドレスを入力する



- 転送先に設定するIPアドレスは、LAN上にあるIPアドレスにしてください。
- 本製品のDMZ機能は、ポートフォワーディングによりLAN (ホーム) 側に接続した機器のIPアドレスにデータを転送する機能です。転送先に設定したIPアドレスに対するフィルターは無効になります。本製品はセグメントを分けるDMZ機能ではないので、万一転送先に設定したIPアドレスが攻撃を受けた場合は、同じLAN (ホーム) 側に接続している他の機器も攻撃される恐れがあります。セキュリティ面には十分に注意して、使用してください。
- DMZ機能を使用する場合は、アドレス変換を「使用する」に設定してください。(☞ 56ページ)

- 3 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

セキュリティ設定

■ セキュリティ

本製品へのアクセス制限およびフィルタリングの設定がワンタッチでできます。この画面でセキュリティを設定すると、自動的にログが保存されます。保存されたログは、3文字の略語（※ 下表）として画面に表示されません。

セキュリティワンタッチ設定

プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。
注: BB-HGW501のWAN(インターネット)側アドレスにプライベートアドレスが割り振られている場合は許可されます。

NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。
 NetBIOS関連のアクセスだけは双方向に許可する。
 ダイレクトホスティングSMBのアクセスだけは双方向に許可する。
 RPCに利用されるポートのアクセスだけは双方向に許可する。

WAN(インターネット)側からBB-HGW501への不正なアクセスを禁止する。

WAN(インターネット)側からLAN(ホーム)側への不正なアクセスを禁止する。

ステルスモードの設定

BB-HGW501の存在をWAN(インターネット)側から検知できないようにする。

データ入力欄

<ul style="list-style-type: none">● セキュリティワンタッチ設定 ・「プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。」 ・「NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。」 ・「WAN (インターネット) 側からのBB-HGW501への不正なアクセスを禁止する。」 ・「WAN (インターネット) 側からLAN (ホーム) 側への不正なアクセスを禁止する。」	<p>セキュリティ上で頻度の高いファイアウォールを、簡単に設定することができます。標準設定では、最もセキュリティが高くなるように設定しています。必要な場合のみ変更してください。</p> <p><u>ログ保存時の表示</u>：P-P WAN (インターネット) 側へ送信するパケットのあて先、またはWAN側から受信するパケットの送信元がプライベートIPアドレスの場合、本製品へのアクセスを禁止します。</p> <p><u>ログ保存時の表示</u>：SHR Windowsでファイルやプリンターを共有する際に送受信されるパケットの双方向アクセスを禁止しています。</p> <p><u>ログ保存時の表示</u>：W-R WAN (インターネット) 側から本製品への不正なアクセスを禁止しています。WAN側から送信されてくるTCPパケットのうち、本製品との通信が確立していないものを破棄します。</p> <p><u>ログ保存時の表示</u>：W-L WAN (インターネット) 側からLAN (ホーム) 側への不正なアクセスを禁止します。WAN側から送信されてくるTCPパケットのうち、LAN側の端末との通信が確立していないものを破棄します。</p>
---	---

拡張機能

● ステルスモードの設定

BB-HGW501の存在を
WAN(インターネット)側か
ら検知できないようにする。

ログ保存時の表示：STL

WAN (インターネット) 側から本製品の本体へのPingなどに応答しない設定をしています。応答しないため、Pingなどによる攻撃先の存在確認から逃れることができます。UDP/TCPポートスキャンにも応答しません。



セキュリティを高めるためには、ソフトウェアなどの適切な運用およびバージョンアップが必要です。

<各セキュリティ機能の優先順位>

本製品はインターネット上のさまざまな不正アクセスに対応するために、以下のセキュリティ機能を装備しています。

【優先順位上位順】

- ・フィルタリング (☞ 74ページ)
- ・セキュリティワンタッチ設定 (☞ 72ページ)
- ・ステルスモード (☞ 上記)

これらの機能は上から順に実行されます。条件に一致した時点でパケットの通過や破棄を決定します。



DMZ機能 (☞ 71ページ) を利用している場合、DMZ端末に関係するパケットには、セキュリティ機能は実行されません。

拡張機能

■ フィルタリング

IPアドレス、ポート、プロトコルの条件を指定することで、受信したIPパケットを通過、または遮断することができます。条件を適切に設定することで、セキュリティ対策として使用することができます。エントリーNo.の小さい順からフィルタリングの処理が行われます。フィルタリングの各項目の説明については、75ページを参照してください。

1 セキュリティ設定画面上の
フィルタリング をクリックする

フィルタリング設定条件

No.	対象接続	タイプ	方向	送信元		宛先		プロトコル	ログ出力
				IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		

追加

フィルターNo.をクリックすると、登録設定画面が開き、更新・削除ができます。
デフォルト設定の説明は、[ここ](#)を参照ください。
BB-HGW501「はBB-HGW501自身、*」はすべてのアドレス/ポートが対象です。

注:オレンジで表示された行の情報は編集後、保存されていない状態です。
設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。

優先順位の変更(エントリーの移動)

エントリーの移動: 番エントリーを 番エントリーへ移動する。 **移動**

保存 **取り消し**

2 「フィルタリング設定条件」
で、追加をクリックする

3 必要項目を設定し、**追加** をクリックする

No.	対象接続	タイプ	方向	送信元		宛先		プロトコル	ログ出力
				IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		

追加 取り消し 戻る

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それを
をクリックする



- フィルタリング設定は、設定を終えたら必ず **保存** をクリックしてください。
- データ入力欄には、スペースを入れないでください。

拡張機能

データ入力欄

No.	エントリーNo. に1～64の値を入力します。エントリーNo. の小さい順にパケットフィルタリングの処理を行います。すでに登録されている場合は、そのエントリーに上書きされます。
対象接続	1はメインセッション、2はサブセッションを表わします。“*” を選ぶと、PPPoE全セッションおよびDHCP/Static接続が対象となります。
タイプ	許可（条件が一致すれば通す）、禁止（条件が一致すれば破棄する）のどちらかを選びます。
方向	W→L（WANからの受信時にフィルタリング）かL→W（WANへの送信時にフィルタリング）を選びます。
送信元IPアドレス	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none">● IPアドレスを1つだけ指定したい場合は、そのIPアドレスを上欄に入力します。● IPアドレスの範囲を指定したい場合は、上欄に小さいIPアドレスを入力し、下欄に大きいIPアドレスを入力します。例えば192.168.0.3から192.168.0.10までのIPアドレスを指定したい場合は、上欄に192.168.0.3を入力し、下欄に192.168.0.10を入力します。● 上欄に*を入力するとすべてのIPアドレスが対象になります。
送信元ポート	フィルタリングするパケットの送信元ポート番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none">● ポートを1つだけ指定したい場合は、上欄にそのポート番号を入力します。● ポートの範囲を指定したい場合は、上欄に小さいポート番号を入力し、下欄に大きいポート番号を入力します。例えば2000から3000までのポートを指定したい場合は、上欄に2000を入力し、下欄に3000を入力します。● 上欄に*を入力するとすべてのポートが対象になります。
あて先IPアドレス	フィルタリングするパケットのあて先のIPアドレスを設定します。入力の規則は送信元IPアドレスと同じです。
あて先ポート	フィルタリングするパケットのあて先のポート番号を設定します。入力の規則は送信元ポートと同じです。 (注) ポート60000～60119は本製品で使用されています。
プロトコル	データを送受信する際のプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、TCPEST、TCPFINの中から選びます。 TCPESTはTCPセッションを確立するときに送信されるパケットを示します。 TCPFINはTCPセッションを終了するときに送信されるパケットを示します。
ログ出力	パケット情報の記録を一時的に保存し、「フィルタリングログ」画面で表示する／しないを設定できます。表示する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

拡張機能

■ フィルタリングの項目を修正または削除するには

- 1 セキュリティ設定画面上の **フィルタリング** をクリックする
- 2 フィルタリング設定条件の一覧から、修正または削除する項目のNo. をクリックする
- 3 設定項目を修正し、**変更** をクリックする
削除するには **削除** をクリックする
修正した内容を元の状態に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。
- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

■ フィルタリング項目の優先順位を変更するには

エントリーNo. の小さい順から、パケットフィルタリングの処理を行います。パケットフィルタリング項目の優先順位を変更するには、フィルタリング設定画面の「優先順位の変更」で、移動する項目のエントリーNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリーNo. を右の入力欄に入力して、**移動** をクリックしてください。そのあと、**保存** をクリックし、設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックしてください。

オプション設定

オプション設定画面では、LAN (ホーム) 側の設定やWAN (インターネット) 側にアクセスするための詳細な設定を行います。オプション設定は、特に変更が必要な場合のみ行ってください。オプション設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1 設定画面上の **オプション設定** をクリックする

それぞれの入力欄については、次ページを参照してください。

2 画面の上にある設定項目を選ぶ

3 データ入力欄に設定値を入力する
元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

LAN(ホーム)側IPアドレス設定

IPアドレス(LAN側)

サブネットマスク

ウェブサーバーのポート番号

DHCPの設定

DHCPサーバー 使用する 使用しない

利用可能なアドレス範囲 -

注: 利用可能なアドレス範囲は最大128個です。
DHCP設定を変更した場合、カメラ関連設定・アドレス交換設定・DHCPスタティック設定は初期化されます。

DHCPスタティック設定

No.をクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。
注: ネットワークカメラ用IPアドレスをDHCPスタティック設定しないでください。

No.	エントリー	IPアドレス (LAN側)	MACアドレス
追加			

注: オレンジで表示された行の情報は編集後、保存されていない状態です。
設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。



- オプション設定を変更した場合、本製品に接続しているパソコンの設定を行い、パソコンを再起動してください。
- データ入力欄には、スペースを入れないでください。

拡張機能

■ データ入力欄

<LAN (ホーム) 側IPアドレス設定>

LAN(ホーム)側IPアドレス設定	
IPアドレス(LAN側)	<input type="text" value="192.168.0.254"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ウェブサーバーのポート番号	<input type="text" value="80"/>

IPアドレス (LAN側)	LAN (ホーム) 側のIPアドレスを入力できます。標準設定は、192.168.0.254です。IPアドレスは、DHCP設定での「利用可能なアドレス範囲」以外で設定してください。
サブネットマスク	LAN (ホーム) 側のサブネットマスクを入力します。
ウェブサーバーのポート番号	ウェブサーバーのポート番号を入力します。

<DHCPの設定>

DHCPの設定	
DHCPサーバー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
利用可能なアドレス範囲	<input type="text" value="192.168.0.1"/> - <input type="text" value="192.168.0.128"/>

DHCPサーバー機能を使用することにより、LAN (ホーム) 側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り振ります。

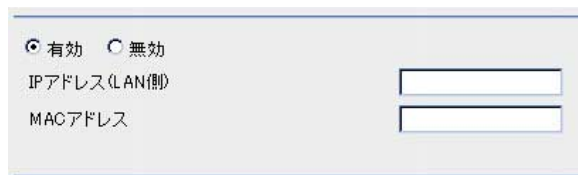
DHCPサーバー	LAN (ホーム) 側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り振ります。 標準設定は、「 使用する 」になっています。LAN (ホーム) 側に接続されているすべての機器に手動でIPアドレスを設定する場合は、「 使用しない 」を選びます。DHCPサーバーの設定を変更した場合は、それぞれのパソコンのIPアドレスの設定を変更してください。
利用可能なアドレス範囲	DHCPサーバー機能を使用する際は、データ入力欄にプライベートIPアドレスの範囲を入力します。入力範囲は連続した最大128個の値です。特に必要ない限りは変更する必要はありません。

拡張機能

<DHCPスタティック設定>

DHCPサーバー機能を使うとき、パソコンのMACアドレスを登録することにより、パソコンに割り振るIPアドレスを固定することができます。

No.の **追加** をクリックすると、右の画面が表示されます。



有効／無効	「有効」または「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリーテーブルは、テーブル設定したMACアドレスをもつパソコンを、テーブルで設定したIPアドレスに固定します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
IPアドレス (LAN側)	該当するパソコンの固定したいIPアドレスを入力してください。
MACアドレス	該当するパソコンのネットワークカードのMACアドレスを入力してください。必ず、半角数字と半角英字の A ~ F または a ~ f を2文字ずつ、半角の「:」で区切って“01:23:45:ab:cd:ef”のように入力してください。

拡張機能

<PPPoE設定>

PPPoEを利用してプロバイダーと接続する場合、PPPoEの接続を開始、または停止することができます。メインセッション、サブセッションの接続方法を選んでください。プロバイダーとの契約で、インターネットアクセスの利用料金が従量制の場合は、「**手動接続**」を選んでください。

「**PPPoE**」をクリックすると、右の画面が表示されます。



常時接続	電源が入っている間は常に接続されます。これが標準設定となっています。PPPoE接続画面から手動で切断できます（☞ 91ページ）。
手動接続	PPPoE接続は、PPPoE接続画面で「 接続 」を選んだ場合にのみ接続されます（☞ 91ページ）。PPPoEの接続を切断するには、PPPoE接続画面上で「 切断 」をクリックしてください。

<DNSリレー>

LAN（ホーム）側に接続しているパソコンのIPアドレスを固定している場合などは、インターネットに接続するために、パソコンにDNSサーバーアドレスを入力する必要があります。DNSリレーはこの面倒な入力作業を省略します。DNSリレーにより本製品は、LAN（ホーム）側のパソコンに対して自身をDNSサーバーとして通知します。LAN（ホーム）側からのDNSの問い合わせに対しては、本製品がWAN（インターネット）側の指定のDNSサーバーに代理で問い合わせをします。そして、問い合わせで得た回答をLAN（ホーム）側のパソコンに返します。

「**DNSリレー**」をクリックすると、設定画面が表示されます。



- PPPoEマルチセッションを利用する場合は、必ずDNSリレーを使用してください。
- LAN（ホーム）側にDNSサーバーを接続している場合は、DNSリレーを使用しないでください。

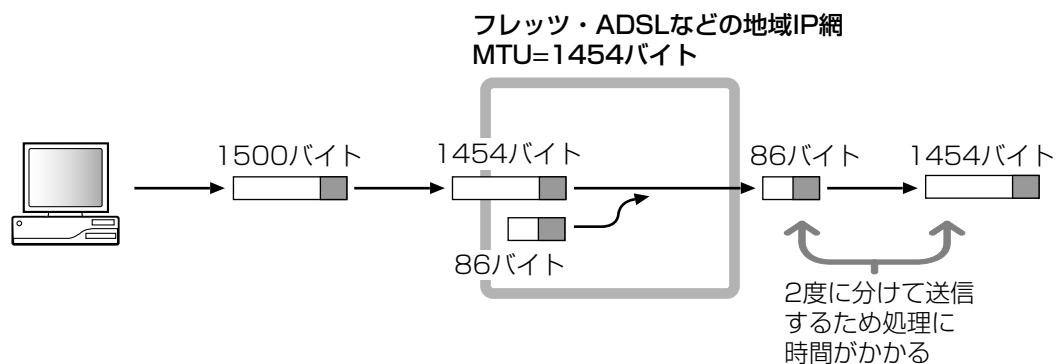
使用する	本製品をDNSサーバーの代理としてパソコンと通信します。標準設定は「使用する」になっています。パソコンのIPアドレスを固定している場合は、パソコンに本製品のIPアドレス192.168.0.254を入力します。
使用しない	DNSリレー機能が働きません。パソコンのIPアドレスを固定している場合は、パソコンにDNSサーバーのアドレスを入力します。

拡張機能

<MTUサイズ>

MTUとは、送信できるパケットの最大長をいいます。MTUの値が大きければ、1回に転送できる転送量が大きくなります。しかし、フレッツ・ADSLなどを使用するときに、MTUの値が大きすぎると、パケットが2回に分けられて送信されます。その結果、転送速度が低下します。通常は最適なMTU値になるように本製品が自動調整します。変更が必要な場合のみMTU値を変更してください。

「MTUサイズ」をクリックすると、設定画面が表示されます。



MTUの設定によっては、通信速度が極端に低下する場合があります。

<ダイナミックルーティング>

RIP (IPの経路情報) をWAN (インターネット) 側→LAN (ホーム) 側に送信する／送信しないと、LAN (ホーム) 側→WAN (インターネット) 側に送信する／送信しないを設定します。

「ダイナミックルーティング」をクリックすると、設定画面が表示されます。

LAN (ホーム) 側送信設定	LAN (ホーム) 側のRIP対応機器に対して、本製品が保持する経路情報を「送信する／送信しない」を設定します。標準設定では「送信する」になっています。
WAN(インターネット) 側送信設定	経路情報をWAN (インターネット) 側に送信すると、LAN (ホーム) 側情報が外部から見えることになります。セキュリティを確保するために通常は「送信しない」に設定します。

拡張機能

<UPnP CP>

UPnP CPを使用すると、本製品を使用して他のUPnP対応ルーターを制御することができます。この機能をもつ機器をCP (コントロールポイント) と呼びます。UPnP CPを使用し、本製品WAN側にUPnP対応ルーター (以下、上位ルーターという) が接続されていると、本製品LAN側に接続された機器のUPnP対応アプリケーションが利用できるようになります。

「UPnP CP」をクリックすると、設定画面が表示されます。



- 上位ルーターがUPnP完全対応でない場合は、利用できないことがあります。
- 上位ルーターにWANからLANへの通信をフィルタリングする設定がなされている場合には、本製品のカメラポータル画面および本製品LAN側に接続されたカメラに対してインターネット側からアクセスできないことがあります。上位ルーターのフィルタリング設定の変更が必要です。
- WAN側に、LANと重なるネットワークを設定しようとする場合には警告画面が表示されます。正常に通信できない場合があるためです。WAN側の通信を行うにはLANの設定を変更しなければなりません。“はい”を選択して、LANの設定を“推奨ネットワーク”に変更してください。推奨ネットワーク以外の設定に変更する場合には、“いいえ”を選択し、オプション設定画面でLAN (ホーム) 側アドレス設定とDHCP設定を変更してください。ポートフォワーディングおよびフィルタリングを設定している場合には、これらも変更してください。
- 上位ルーターのウェブサーバーがポート番号80番を使用している場合、本製品ウェブサーバーのポート番号を80番以外 (例：8080番) に設定してください。(P. 78ページ) これによりインターネットから本製品のカメラポータル画面にアクセスするときは、上位ルーターのWAN側IPアドレス：8080で可能となります。

アプリケーション機能

本製品は、カメラを制御する基本的なプログラム（ファームウェア）とは別に、アプリケーションを追加したり、変更したりできるアプリケーションプラットフォーム機能を搭載しています。本製品設置後にパナソニックのサポートウェブサイト*から必要なカメラ制御アプリケーションをダウンロードすることで本製品の機能を強化できます。

※パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/>)



本製品は、カメラとの通信が切断されて応答が得られない場合に、メールで通知するカメラ切断通知機能を標準で搭載しています。

■ アプリケーションの登録追加

アプリケーションの登録追加を行う前に、パソコンにアプリケーションをダウンロードしてください。詳細は上記のサポートウェブサイトの説明をお読みください。

1 設定画面上の **アプリケーション機能** をクリックする

2 アプリケーションを選ぶために、**参照…** をクリックする

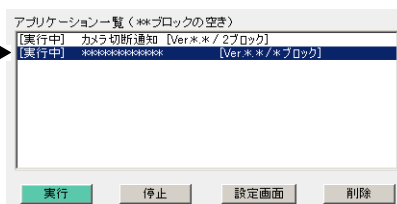
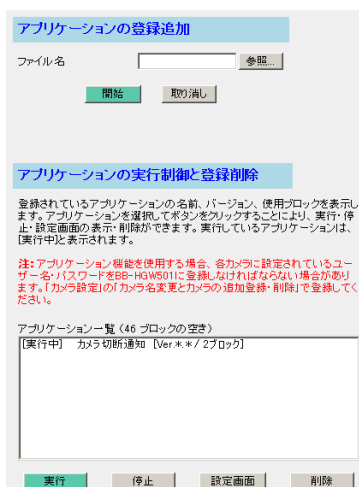
ファイルの選択ダイアログが表示されます。

3 ファイルの一覧からインストールしたいアプリケーションを選び、**開く** をクリックする

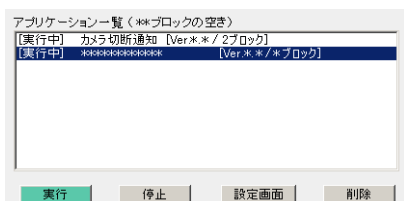
選んだファイルがアプリケーション機能設定画面の**ファイル名**欄に表示されます。

4 **開始** をクリックする

アプリケーションの登録が終わったら、アプリケーション一覧に登録したアプリケーションが表示されます。



■ アプリケーション一覧



① ② ③ ④

- ① 停止したアプリケーションを再度、実行します。(☞ 84ページ)
- ② アプリケーションを停止します。(☞ 84ページ)
- ③ アプリケーションによっては、プログラム実行の際に設定が必要です。(☞ 各アプリケーションの操作説明書)
- ④ アプリケーションを削除します。(☞ 84ページ)

拡張機能

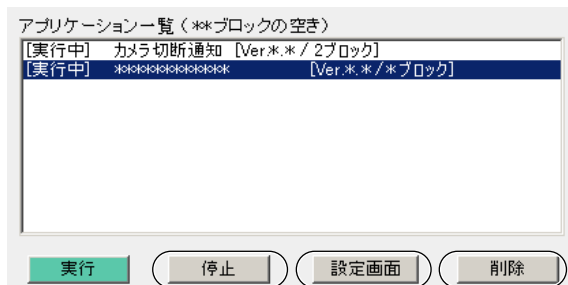
■ アプリケーションの設定画面、停止、削除

1 設定画面上の **アプリケーション機能** をクリックする

2 アプリケーションを選択して **停止**、**設定画面** または **削除** をクリックする

- 削除する場合は確認のダイアログボックスが出ます。アプリケーションが正しいか確認して、**はい** を押してください。
- **設定画面** の内容については、各アプリケーションの操作説明書を参照してください。

3 **更新** をクリックする

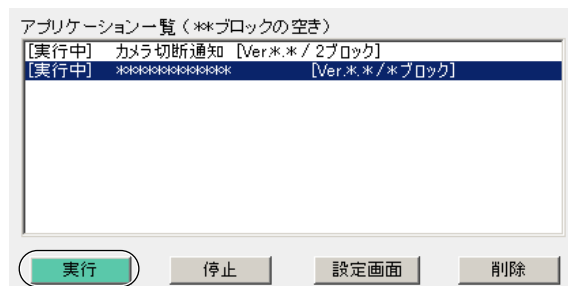


■ 停止したアプリケーションの実行

1 設定画面上の **アプリケーション機能** をクリックする

2 アプリケーションを選択して **実行** をクリックする

3 **更新** をクリックする
アプリケーション名の横に[実行中]と表示されます。



アプリケーションについては、本製品を再起動しても、現在の動作状態（実行もしくは停止状態）を保持します。

拡張機能

■ アプリケーション用メール設定

アプリケーションで使用するメール転送の設定を行います。

- アプリケーションによってはアプリケーション用メール設定が必要になります。

- 1 **アプリケーション用メール設定** をクリックする
- 2 各項目を設定し、**保存** を押す
- 3 **再起動** をクリックする

メール設定(共通)

送信メール(SMTP)サーバー

受信メール(POP3)サーバー

ログインID

パスワード

返信先(送信元)

メールあて先設定

あて先1

あて先2

あて先3

あて先4

あて先5

保存 取り消し

データ入力欄

送信メール (SMTP) サーバー	送信メール (SMTP) サーバーのアドレス* ¹ またはホスト名 (1~255文字)* ² を入力してください。
受信メール (POP3) サーバー	受信メール (POP3) サーバーのアドレス* ¹ またはホスト名 (1~255文字)* ² を入力してください。
ログインID	受信メール (POP3) サーバーのログインIDを入力してください。* ³
パスワード	受信メール (POP3) サーバーのパスワードを入力してください。* ³
返信先 (送信元)* ²	返信先 (送信元) のメールアドレスを入力してください。管理者のメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先* ² 1~あて先5	Eメールの送信先のアドレスを5つまで設定できます。

*¹ 192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。)

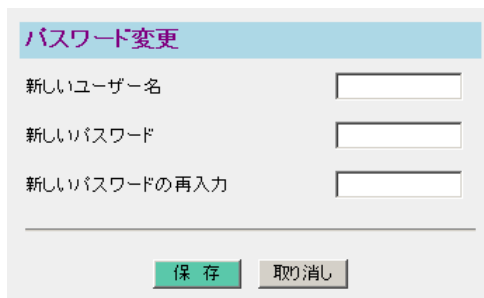
*² 半角英数字のみ使えます。ただし、[スペース]、["], ['], [#], [&], [%], [=], [+], [?], [<], [>], [:]は使えません。

*³ メール転送時にPOP3の認証が必要なときは、ネットワーク管理者またはプロバイダーに確認し、設定してください。

パスワード変更

設定画面へアクセスするための共用パスワードを変更します。

- 1 設定画面上の **パスワード変更** をクリックする
- 2 新しいユーザー名入力欄に新しいユーザー名を15文字までの半角英数字で入力する
- 3 新しいパスワード入力欄に新しいパスワードを15文字までの半角英数字で入力し、確認のため、**新しいパスワードの再入力欄**に再度新しいパスワードを入力する



パスワード変更

新しいユーザー名

新しいパスワード

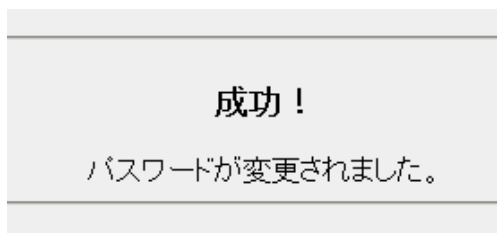
新しいパスワードの再入力



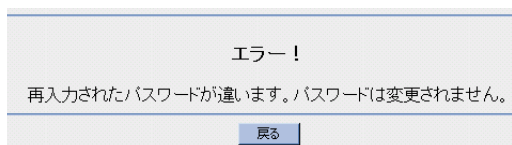
- **新しいパスワードの再入力欄**に入力する際は、コピー・貼り付け機能を使わないでください。
- 大文字、小文字を区別してユーザー名とパスワードを入力してください。

4 **保存** をクリックする

- パスワードの変更が終了したら、右の画面が表示されます。



- 入力されたパスワードがまちがっていると、右の画面が表示されます。



- 5** ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されたら、**ユーザー名**と**パスワード**欄に新しいユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックする



設定したユーザー名とパスワードを忘れてしまった場合

CLEAR SETTINGボタンを押して本製品の初期化を行ってください。(P. 98ページ)

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。もう一度ユーザー名とパスワードを設定し直してください。

バージョンアップ

新しいファームウェアファイルをインストールすることができます。最新ファームウェアファイルは、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/>) から入手することができます。

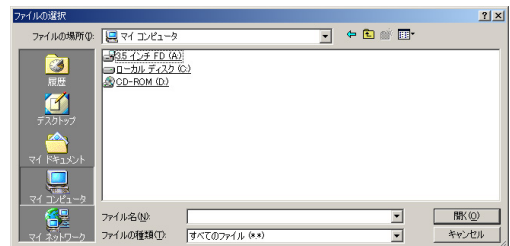
バージョンアップ機能を使う前に、パソコンにファームウェアファイルをダウンロードしてください。詳細は、サポートウェブサイトの説明をお読みください。

- 1** 設定画面上の **バージョンアップ** をクリックする



- 2** ファームウェアファイルを選ぶために、**参照...** をクリックする

ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。



- 3** ファイルの一覧からインストールしたいファームウェアファイルを選び、**開く** をクリックする

選んだファイルがバージョンアップ設定画面の**ファイル名**欄に表示されます。

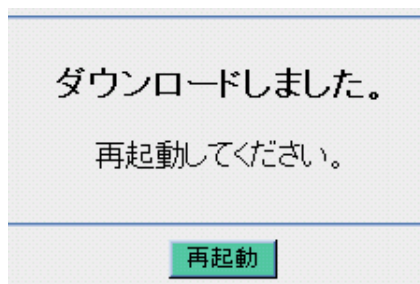
4 **開始** をクリックする

バージョンアップを行います。



バージョンアップ中は絶対に電源を切らないでください。更新中に電源を切ると正常に動作しなくなります。

- バージョンアップが終了すると、右の画面が表示されます。
- バージョンアップされなかったときは、エラーメッセージが表示されます。(下記表を参照してください。)



5 **再起動** をクリックする



- バージョンアップ後、初期化を必要とする場合があります。詳細はパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。初期化はCLEAR SETTINGボタン (☞ 98ページ) を押してください。
- DHCPサーバー機能 (☞ 78ページ) を使っているときは、本製品に接続しているLAN (ホーム) 側のすべてのパソコンを再起動してください。

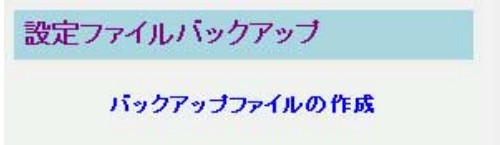
エラーメッセージ	原因と対策
ファイル・サイズが不適當です。 CRCエラーが生じました。	選択したファームウェアファイルは壊れています。 http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/ からダウンロードして入手したファームウェアファイルの場合、再度、ダウンロードしてください。
選択したファイルは、正しい ファイルではありません。 ファイルをもう一度確認してく ださい。	選択されたファームウェアファイルは、本製品には使えません。適切な ファイルを選んでください。ファイルに添付されている説明書 (Readme.txtなど) を参照して、本製品のハードウェアバージョンに 合っているか確認してください。(☞ 93ページ) 合っていないときは、 ハードウェアバージョンに合う最新版のファームウェアファイルを http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/ より入手してください。
メモリーが足りません。	本製品の内蔵メモリーが処理負荷のため少なくなっています。 本製品を再起動したあと、再度バージョンアップを行ってください。

バックアップ

各種設定ファイルのバックアップと、バックアップしたファイルの復元ができます。

■ 設定ファイル作成

- 1 設定画面上の **バックアップ** をクリックする
- 2 「バックアップファイルの作成」をクリックする
ダウンロードのウィザード画面が表示されます。
- 3 保存する場所とファイル名を指定して保存する



設定ファイルバックアップ

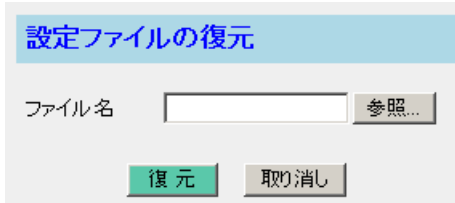
バックアップファイルの作成



アプリケーションについては、バックアップされません。

■ 設定ファイル復元

- 1 設定画面上の **バックアップ** をクリックする
- 2 復元させるファイルを選ぶために、**参照...** をクリックする
ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。
- 3 ファイルの一覧から復元させるバックアップファイルを選び、**開く** をクリックする
選んだファイルが設定ファイル復元設定画面のファイル名欄に表示されます。
- 4 **復元** をクリックする
- 5 **再起動** をクリックする
再起動されます。



設定ファイルの復元

ファイル名

参照...

復元

取り消し



設定を復元したあとは、すべてのアプリケーションは停止状態になります。アプリケーション機能の設定画面で実行させてください。

再起動

再起動します。このとき、本製品の設定内容は保存されています。

- 1 設定画面上の **再起動** をクリックする



- 2 **再起動** をクリックする

再起動されます。



DHCPサーバー機能（[78ページ](#)）を使っているときは、本製品に接続しているLAN（ホーム）側のすべてのパソコンも再起動してください。

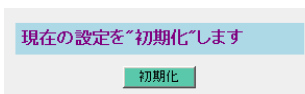


アプリケーションについては、本製品を再起動しても、現在の動作状態（実行もしくは停止状態）を保持します。

初期化

すべての設定値を初期化します。設定値は、工場出荷時に設定されていた内容（標準設定値 [109ページ](#)）に戻ります。

- 1 設定画面上の **初期化** をクリックする



- 2 **初期化** をクリックする

すべての設定値が初期化されます。



DHCPサーバー機能（[78ページ](#)）を使っているときは、本製品に接続しているLAN（ホーム）側のすべてのパソコンも再起動してください。



アプリケーションについては、初期化されません。本製品を初期化すると、すべてのアプリケーションは停止状態になります。アプリケーション機能の設定画面で実行させてください。

PPPoE接続 / 切断

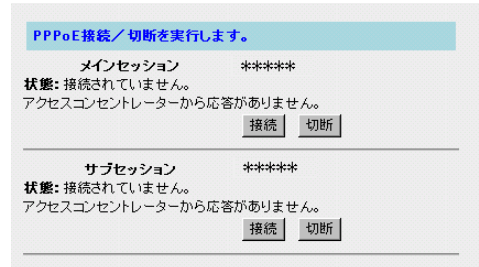
PPPoEの接続コマンドによって、プロバイダーへのPPPoE接続を手動で切断または接続することができます。

<PPPoE接続を行う場合>

- 1 設定画面上の **PPPoE接続/切断** をクリックする

右の画面が表示されます。

- 2 PPPoE接続を開始するには、各セッションの **接続** をクリックする

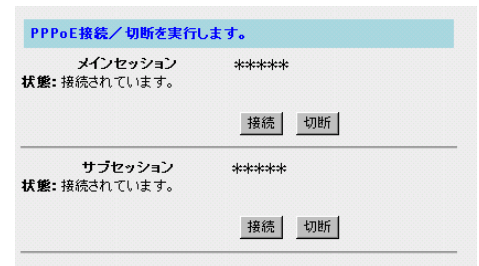


<PPPoE接続を切断する場合>

- 1 設定画面上の **PPPoE接続/切断** をクリックする

右の画面が表示されます。

- 2 接続を切断するには、各セッションの **切断** をクリックする



- このコマンドは、PPPoEの接続形態の種類（常時接続または手動接続）に関係なく使用できます。
- WAN（インターネット）側からは、PPPoEの切断はできません。

セッション・キープ・アライブ機能について

本製品はセッション・キープ・アライブ機能をもっています。PPPoE接続の常時接続モードの場合に、プロバイダーのサーバーとの接続が何らかの理由で切断したときに、自動的に接続を試みる機能です。本製品のセッション・キープ・アライブ機能は次の特徴をもっています。

- 常時接続モード時に有効になっています。手動接続モード時は、自動的に接続しません。
- 再接続を行うタイミングは、1分後、2分後、3分後…9分後と1分ずつ増えていき、それ以降は10分間隔で接続を試みます。

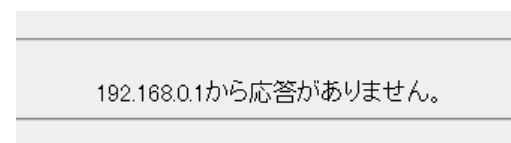
Ping

WAN (インターネット) 側、または、LAN (ホーム) 側のウェブサイトや機器が、TCP/IPネットワークで本製品と接続されているかどうか、確認することができます。正しく接続されている場合は、「成功!」のメッセージが画面に表示されます。

- 1 設定画面上の **Ping** をクリックする
- 2 接続されていることを確認したい機器やサイトのIPアドレス (例: 192.168.0.1) を入力する
IPアドレス欄を空白に戻すには、**取り消し** をクリックする



- 3 **Ping** をクリックする
 - 接続されている場合は、右の画面が表示されます。
 - 指定IPアドレスからの応答がない場合は、右の画面が表示されます。



Pingを実行したウェブサイトが接続されていても、ウェブサイトによってはPingに応答しない場合があります。この場合、「失敗」と表示されます。

ステータス

「ネットワーク接続情報」と「UPnPポートマッピングテーブル」によって、本製品のネットワーク接続に関する諸情報を表示します。

■ ネットワーク接続情報

ハードウェアとソフトウェアのバージョン情報などを見ることができます。この情報は、ネットワークカメラカスタマコンタクトセンターに連絡するとき役に立ちます。

1 設定画面上の **ステータス** をクリックする

2 ステータス下部の「ネットワーク接続情報」の **表示** をクリックする



システム設定	
ファームウェア	Ver *** *****
設定情報	Ver ***
ホスト名(デバイス名)	
MACアドレス (WAN側)	*****
MACアドレス (LAN側)	*****
使用メモリー容量	***** byte
メモリー残容量	***** byte
バケットメモリー	***

■ UPnPポートマッピングテーブル表示

本製品に登録したUPnPポートマッピング設定情報が表示されます。最大128件まで表示されます。また、本製品を再起動するとUPnP ポートマッピング登録情報は消去されます。

UPnPポートマッピング設定情報は次の手順で確認することができます。

1 設定画面上の **ステータス** をクリックする

2 ステータス下部の「UPnPポートマッピングテーブル」の **表示** をクリックする

No.	状態	クライアント	プロトコル	外部ポート	内部ポート	リモートホスト	有効期間(秒)	登録日時	説明
1	有効	192.168.0.1	TCP	80	80	*	1080	10/08 13:09:58	CamPortMapping

情報表示

■ 表示項目

登録されたUPnPポートマッピングの設定情報

登録件数	UPnPポートマッピングの最大登録数は128件です。 以下、2つの状態を示します。 1 「アドレス変換」で「使用する (UPnP対応)」を選択している場合、「登録件数：現在の登録件数/128」が表示されます。 2 「アドレス変換」で「使用する (UPnP対応)」を選択していない場合、「登録件数：0 / 128」が表示されます。
UPnPポートが登録されてから、自動削除されるまでの時間	アドレス変換設定で登録したUPnPポート自動削除設定の値（無期限、1~24時間）が表示されます。 注：登録日時から設定時間が経過すると、ポートが自動削除されます。
状態	ポートマッピングの設定が有効か無効かが表示されます。
クライアント	クライアントのIPアドレスが表示されます。
プロトコル	設定された情報の対象となるプロトコルが表示されます。「TCP」または「UDP」が表示されます。
外部ポート	設定されたポート情報の外側（WAN側）のポート番号が表示されます。
内部ポート	設定されたポート情報のクライアント側のIPアドレスとポート番号が表示されます。
リモートホスト	クライアントから通信相手を特定してポート追加要求された場合、相手のホストIPアドレスが表示されます。通信相手に制限がなければ、*が表示されます。
有効期限（秒）	クライアントから登録UPnPポートに対して有効期限が設定される場合は、その有効期限が秒で表示されます。有効期限が設定されない場合は無期限と表示されます。
登録日時	クライアントがUPnPで登録アクセスしてきた日時が表示されます。 注：この時間は表示しているパソコンの現在時刻を基に算出しています。 表示されている日時がおかしい場合は、パソコンの時刻設定を確認、調整してください。
説明	アプリケーションから送られてくる情報が表示されます。

情報表示

<UPnPポートマッピングテーブル登録情報消去>

本製品に登録したUPnPポートマッピングテーブルを強制的に消去することができます。テーブル削除ボタンを押すと、すべてのUPnP ポートマッピングテーブルが消去されます。

UPnPポートマッピングテーブル登録の全消去は次の手順で行います。

1 UPnPポートマッピングテーブル画面で

テーブル削除 をクリックする

テーブルが全削除された画面が表示されます。



- Windows/MSN Messengerを終了してもUPnPポートマッピングが残ることがあります。それによりUPnPポートマッピング最大登録件数128件を越える登録がされた場合、その登録は無視され、正常にWindows/MSN Messengerが利用できなくなることがあります。その場合は、ポートマッピングテーブルを一度削除してください。
- Windows/MSN Messengerを起動している状態でUPnPポートマッピング登録情報を消去して接続が切れた場合は、Windows/MSN Messengerをいったん終了後、起動し直してください。Windows/MSN Messengerをサインインし直すだけでは正常に動作しませんので注意してください。

ログ表示

本製品が取得している各種ログを表示します。



ログ日時はログをモニターするパソコンから算出しています。日時表示がおかしい場合は、パソコンの時計日時を確認、修正し、ログを再表示させてください。



再起動するとログ情報は消去されます。

■ フィルタリングログ

フィルタリング設定の画面で「ログ出力」にチェックをつけたエントリーがパケットの処理を行うとパケットの情報を記録します。パケット情報は、対象接続、フィルター番号、ステータス、方向、送信元／あて先ポート番号などで、最新の情報（4000個まで）を見ることができます。

1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする

2 「フィルタリングログ」の **表示** をクリックする

3 **再読み込み** をクリックし、最新のログ画面を表示させる

記録したログを削除するには、**ログ削除** をクリックしてください。

現在ログがありません

再読み込み



フィルタリングログのフィルター番号に、「W-B」、「P-P」、「SHR」、「W-R」、「W-L」、「STL」と表示されている場合、セキュリティワンタッチ設定によるフィルタリングの内容を表示しています。詳しくは44、72ページを参照してください。

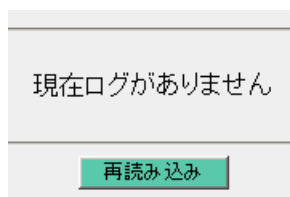
情報表示

■ UPnPログ

ポートマッピングの追加、削除、失敗状況のログ情報を一覧で表示します。保存ログ件数は最大で100件です。100件以上の情報が発生した場合は、保存情報が古いものから上書きされます。1画面に表示できるログは100件です。

- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 UPnPログの **表示** をクリックする
- 3 **再読み込み** をクリックし、最新のログ画面を表示させる

記録したログを削除するには、**ログ削除** をクリックしてください。



■ 表示項目

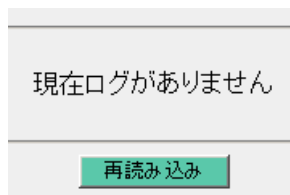
No	ログ番号です。最新のものから順に番号が割り振られます。
日時	本製品がポートの操作を行った時間が表示されます。この時間は表示しているパソコンの現在時刻を基に算出しています。表示されている日時がおかしい場合は、パソコンの時刻設定を確認、調整して、上記手順を繰り返してください。
イベント	本製品が行ったポート操作の内容が表示されます。表示される内容は以下のいずれかの項目です。 <ul style="list-style-type: none">・「ポート追加」：ポート情報が追加されました。・「ポート追加失敗」：ポートの追加に失敗しました。・「ポート削除」：ポート情報が削除されました。・「ポート削除失敗」：ポートの削除に失敗しました。・「手動一括削除」：登録されていた情報がユーザーによって削除されました。 情報表示の「ステータス」：UPnPポートマッピングテーブルの「テーブル削除」が行われた際に表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・「自動削除（ユーザー設定）」：UPnPポート自動削除設定タイマーに設定された時間が経過したため削除されました。・「自動削除（アプリケーション）」：使用中のアプリケーションソフトに設定された時間が経過しました。
クライアント側 (IPアドレス、ポート)	設定されたポート情報のクライアント側IPアドレスとポート番号が表示されます。
プロトコル	設定された情報の対象となるプロトコルが表示されます。「TCP」もしくは「UDP」が表示されます。
外部ポート	設定されたポート情報の外側（WAN側）のポート番号が表示されます。

情報表示

■ PPPoE接続／切断ログ

PPPoE接続における接続・切断および認証のログを表示します。接続ログの場合は、接続した際のIPアドレスが確認できます。1画面に記録できるログは256個です。1024個以上のログがある場合は、画面下部に記録されているページ番号を選択し、目的の情報を表示してください。

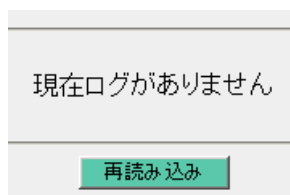
- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 PPPoEの切断／接続ログの **表示** をクリックする



■ みえますねっとログ

みえますねっとサーバーとの通信のログを表示します。ログは250個ごとに5グループに分割されています。最新のログから順に表示されており、ログ満杯時には、古いログから削除され、新しいログが上書きされていきます。

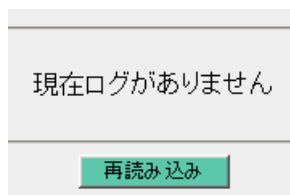
- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 みえますねっとログの **表示** をクリックする



■ メールログ

アプリケーション機能によるメール転送のログを表示します。ログは100個まで表示できます。最新のログから順に表示されており、ログ満杯時には、古いログから削除され、新しいログが上書きされていきます。

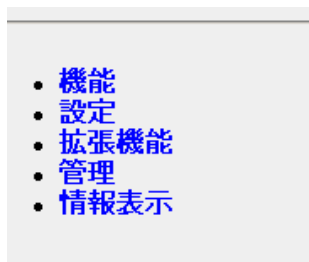
- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 メールログの **表示** をクリックする



ヘルプ

ヘルプ機能は、設定画面の各項目を説明しています。

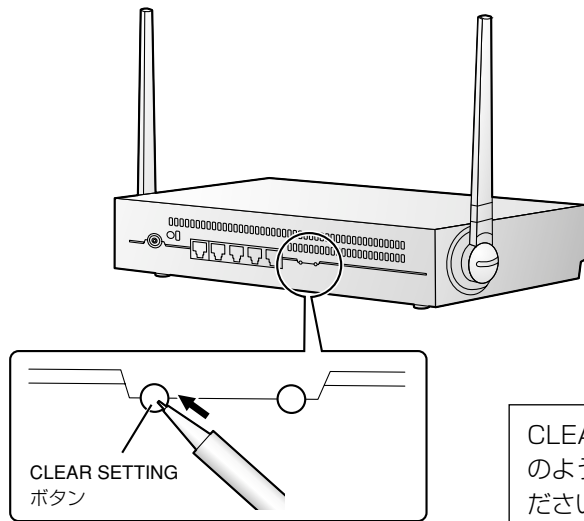
- 1 設定画面上の **ヘルプ** をクリックする
- 2 調べたい項目を選ぶ



設定画面上の項目をクリックすることでもヘルプを参照できます。

初期化

本製品の背面にCLEAR SETTINGボタンがあります。このボタンは初期化するときに押します。



CLEAR SETTINGボタンをボールペンのような先のとがったもので押してください。

初期化

パスワード（☞ かんたんガイド）を忘れていたり、設定値を工場出荷時の状態（標準設定値 ☞ 108ページ）に戻すときは、CLEAR SETTINGボタンを1秒間押し続けてください。



- CLEAR SETTINGボタンを押すと、設定した内容は消去され標準設定値になります。
- DHCPサーバー機能（☞ 78ページ）を使うときは、本製品に接続しているLAN（ホーム）側のすべてのパソコンを再起動してください。



アプリケーションについては、初期化されません。本製品を初期化すると、すべてのアプリケーションは停止状態になります。アプリケーション機能の設定画面で実行させてください。

再起動

POWERインジケータが赤に点灯した場合は（☞ 「ご使用前に／困ったときには」の8ページ）、本製品を再起動してください。コンセントからACアダプターを抜き、もう一度差し込むと本製品の設定内容を変更することなく再起動することができます。



DHCPサーバー機能（☞ 78ページ）を使うときは、本製品に接続しているLAN（ホーム）側のすべてのパソコンを再起動してください。



アプリケーションについては、本製品を再起動しても、現在の動作状態（実行もしくは停止状態）を保持します。

プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定

プロバイダーによっては、プロキシサーバーを経由してインターネットに接続する場合があります。プロキシサーバーを経由する場合は、設定画面にアクセスすることはできません。次の手順に従ってウェブブラウザの設定を変更してください。

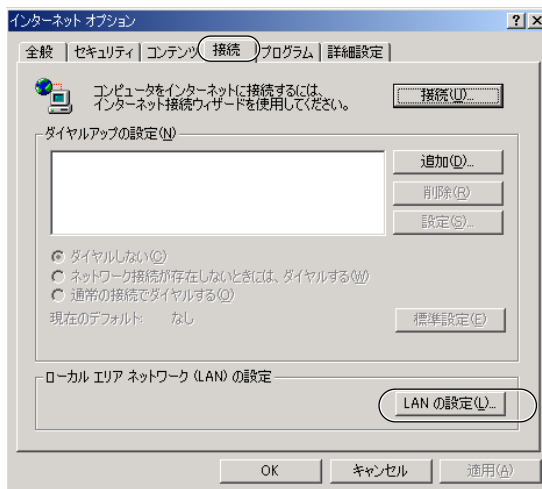
次の手順は、Internet Explorer 5.5を使った場合です。

1 ウェブブラウザを起動する



2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ

3 接続タブをクリックする

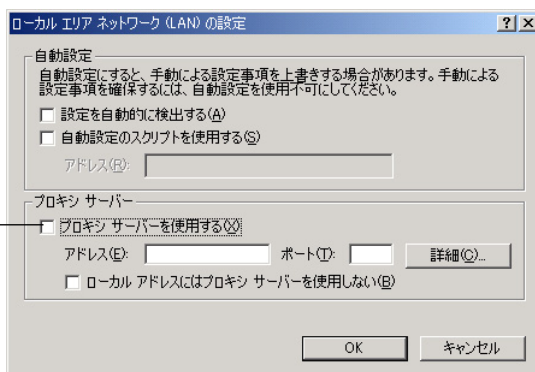


4 LAN の設定 をクリックする

5 ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定ダイアログボックスで、「プロキシ サーバーを使用する」のチェックボックスを確認する

- チェックボックスがチェックされているなら、チェックをはずして **OK** をクリックしてください。
- チェックボックスがチェックされていないなら、**キャンセル** をクリックし設定を終了してください。

チェックボックスがチェックされていないことを確認してください。



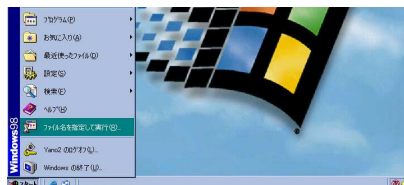
パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

各パソコンから本製品の設定画面にアクセスできない、またはネットワーク上の他のパソコンと通信できない、などの場合には、各パソコンのIPアドレスの設定に問題がある可能性があります。以下の手順に従ってIPアドレスの設定を確認してください。

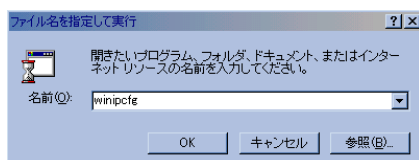
Windows 98/Meの場合

以下の手順は、Windows 98の場合です。

- 1 **スタート** メニューから「ファイル名を指定して実行」を選ぶ



- 2 名前欄にwinipcfgと入力し、**OK** をクリックする



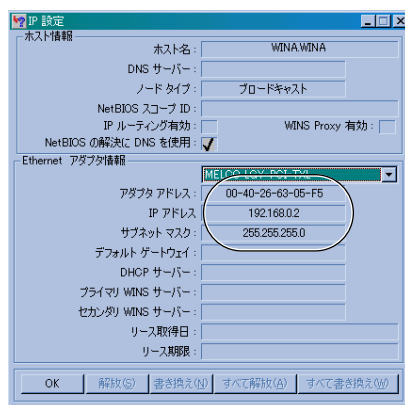
- 3 IPアドレスを確認したいネットワークカード (イーサネットアダプタ) を選ぶ



- 4 **詳細** をクリックする

IP アドレス欄を見て、設定されているIPアドレスを確認してください。

アダプタ アドレス欄を見て、ネットワークカード (イーサネットアダプタ) のMACアドレスを確認してください。



パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには



「IPアドレスを自動的に取得」を設定していて、「169.254.XXX.X」などの値が表示された場合は、IPアドレスが正しく取得できていない可能性があります。そのような場合は、次の手順に従ってIPアドレスを更新してください。

- 1 **解放** をクリックする
自動取得していたIPアドレスが解放されます。
- 2 **書き換え** をクリックする
新しいIPアドレスが割り振られます。
- 3 **OK** をクリックする

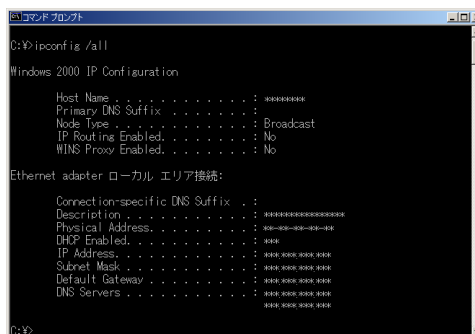
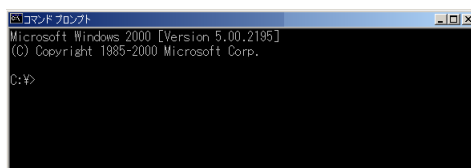
Windows XP/2000の場合

- 1 **スタート** メニューから「すべてのプログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」を選ぶ

Windows 2000の場合は、**スタート** メニューから「プログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」を選んでください。

- 2 コマンドプロンプトのあとにipconfig/allと入力し、Enterキーを押す

- ipconfig/renew_allについて
すべてのネットワークカードのDHCP構成パラメーターを更新します。
- ipconfig/release_allについて
すべてのネットワークカードのDHCP構成パラメーターを解放します。

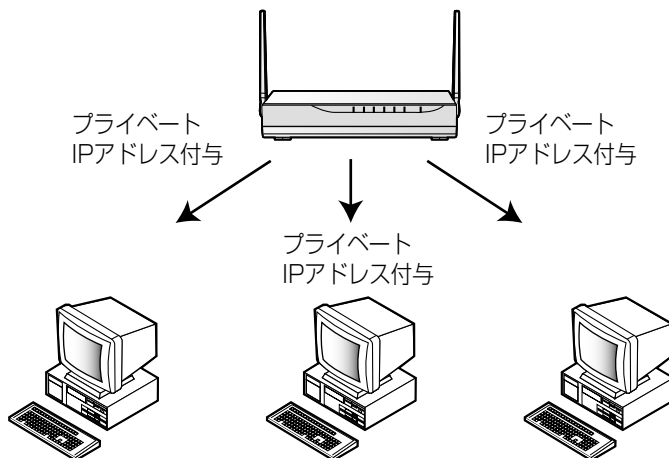


ipconfigコマンドの説明は、コマンドプロンプトのあとにipconfig/?と入力すると表示されます。

パソコンのIPアドレスを固定するには

本製品を含めたTCP/IPネットワークのすべてのパソコンには、それぞれ固有のIPアドレスの設定が必要です。本製品では、DHCPサーバー機能を使って、LAN（ホーム）側の各パソコンにIPアドレスを自動で割り振ることができます（標準設定）。この場合、本製品が各パソコンにIPアドレスを割り振ったり、再割り振りするため、各パソコンのIPアドレスは固定していません。

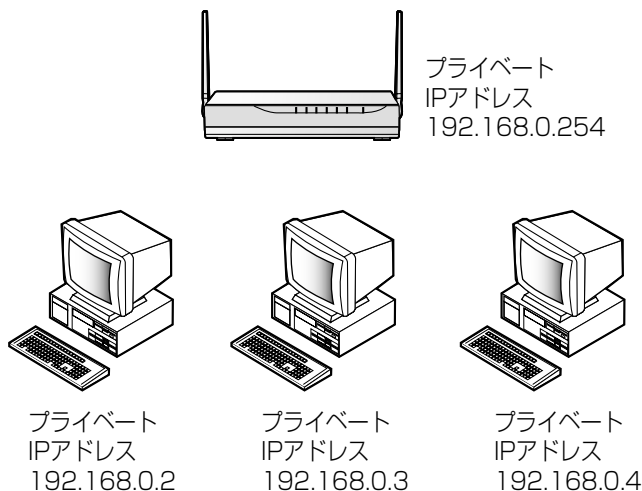
本製品がIPアドレスを割り振るネットワーク（標準設定）



これに対し、本製品のDHCPサーバー機能を無効にして、LAN側の各パソコンのプライベートIPアドレスを固定することができます。この場合、あらかじめ各パソコンに固有のIPアドレスを設定する必要があります。

IPアドレスが固定されたネットワーク（オプション設定）

本製品のDHCPサーバー機能を使用せずに、プライベートIPアドレスを固定してネットワーク設定を行います。各パソコンに固有のプライベートIPアドレスを固定して設定する必要があります。各パソコンに固有のプライベートIPアドレスを設定したあとに、本製品を設定します。78ページを参照し、オプション設定画面上のDHCPサーバー機能を無効にしてください。各パソコンの設定は、103、105ページの手順に従ってください。



パソコンのIPアドレスを固定するには

Windows 98/Meの場合

1 **スタート** メニューから「**設定**」を選び、「**コントロール パネル**」をクリックする

2 「**ネットワーク**」アイコンをダブルクリックする
Windows Meで「**ネットワーク**」アイコンが見つからない場合は、「**すべてのコントロールパネルのオプションを表示する**」をクリックしてください。

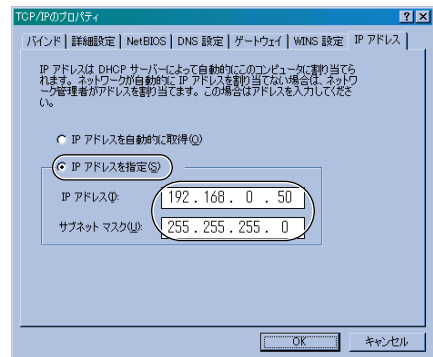
3 ネットワークダイアログボックスで、本製品に接続しているネットワークカードに関連したTCP/IPを選び、「**プロパティ**」をクリックする
TCP/IPのプロパティダイアログボックスが表示されます。

4 TCP/IPのプロパティダイアログボックスで、**IP アドレスタブ**をクリックする

5 「**IP アドレスを指定**」を選ぶ

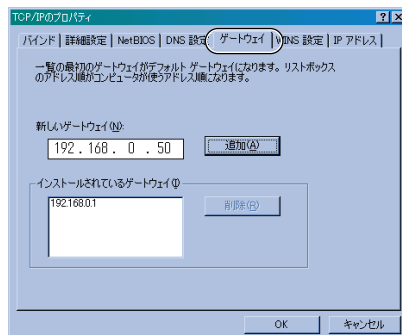
6 各パソコンのIPアドレス
(例：192.168.0.50) とサブネットマスク
を入力する

サブネットマスクは通常255.255.255.0と入力します。本製品の設定画面にアクセスする場合は、本製品のサブネットマスクと同じ値を入力してください。



パソコンのIPアドレスを固定するには

7 ゲートウェイタブをクリックする

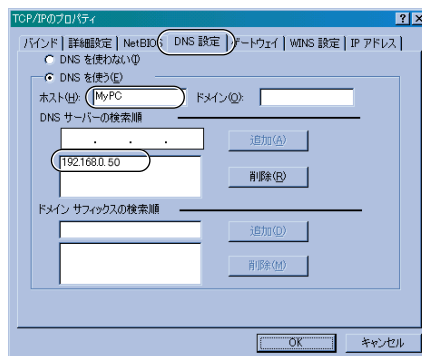


8 192.168.0.254（本製品の標準設定IPアドレス）を「新しいゲートウェイ」のアドレス欄に入力し、追加をクリックする

9 192.168.0.254が「インストールされているゲートウェイ」のアドレス欄に入力されていることを確認する

本製品のIPアドレスを変更する場合は、「インストールされているゲートウェイ」のIPアドレスも変更してください。

10 DNS 設定タブをクリックする



11 「DNS を使う」を選ぶ

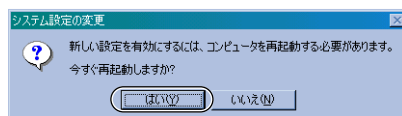
12 DNSサーバーアドレスを「DNS サーバーの検索順」のアドレス欄に入力し、追加をクリックする

13 任意のホスト名を入力し、OK をクリックする

14 OK をクリックする

システム設定の変更ダイアログボックスが表示されます。

15 はい をクリックし、パソコンを再起動する



パソコンのIPアドレスを固定するには

Windows XP/2000の場合

- 1 **スタート** メニューの「**マイ コンピュータ**」から「**マイ ネットワーク**」を選び、「**ネットワーク接続を表示する**」を選ぶ

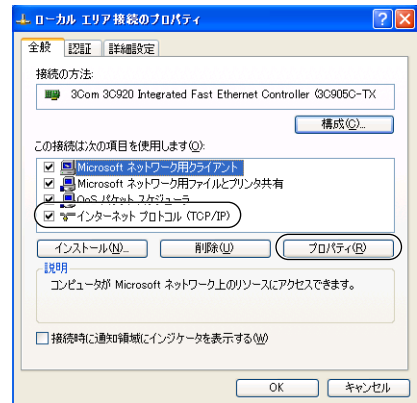
Windows 2000の場合は、「**マイ ネットワーク**」アイコンを右クリックし、「**プロパティ**」を選ぶ

- 2 本製品が接続されている「**ローカル エリア接続 ...**」アイコンを右クリックし、「**プロパティ**」を選ぶ



ローカル エリア接続

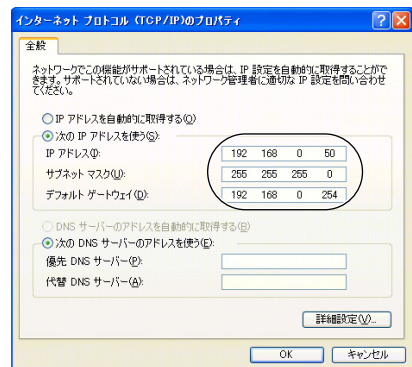
- 3 「**インターネット プロトコル (TCP/IP)**」を選び、「**プロパティ**」をクリックする



- 4 「**次のIP アドレスを使う**」を選ぶ

- 5 各パソコンのIPアドレス (例: 192.168.0.50) とサブネットマスクを入力し、**192.168.0.254** (本製品の標準設定IPアドレス) を「**デフォルト ゲートウェイ**」の入力欄に入力する

サブネットマスクは通常255.255.255.0と入力します。本製品の設定画面にアクセスする場合は、本製品のサブネットマスクと同じ値を入力してください。



パソコンのIPアドレスを固定するには

6 「次の DNS サーバーのアドレスを使う」をクリックする

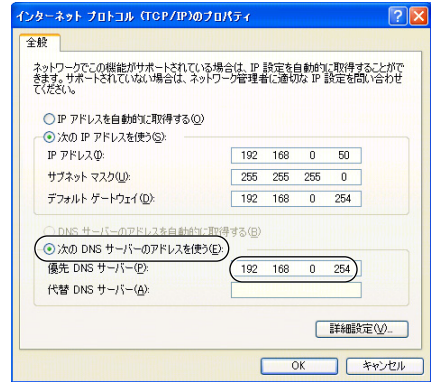
7 DNSサーバーのアドレスを入力欄に入力し、**OK** をクリックする

8 **閉じる** をクリックする

Windows 2000の場合は、**OK** をクリックしてください。

9 「ネットワーク接続」のウィンドウを閉じて、パソコンを再起動する

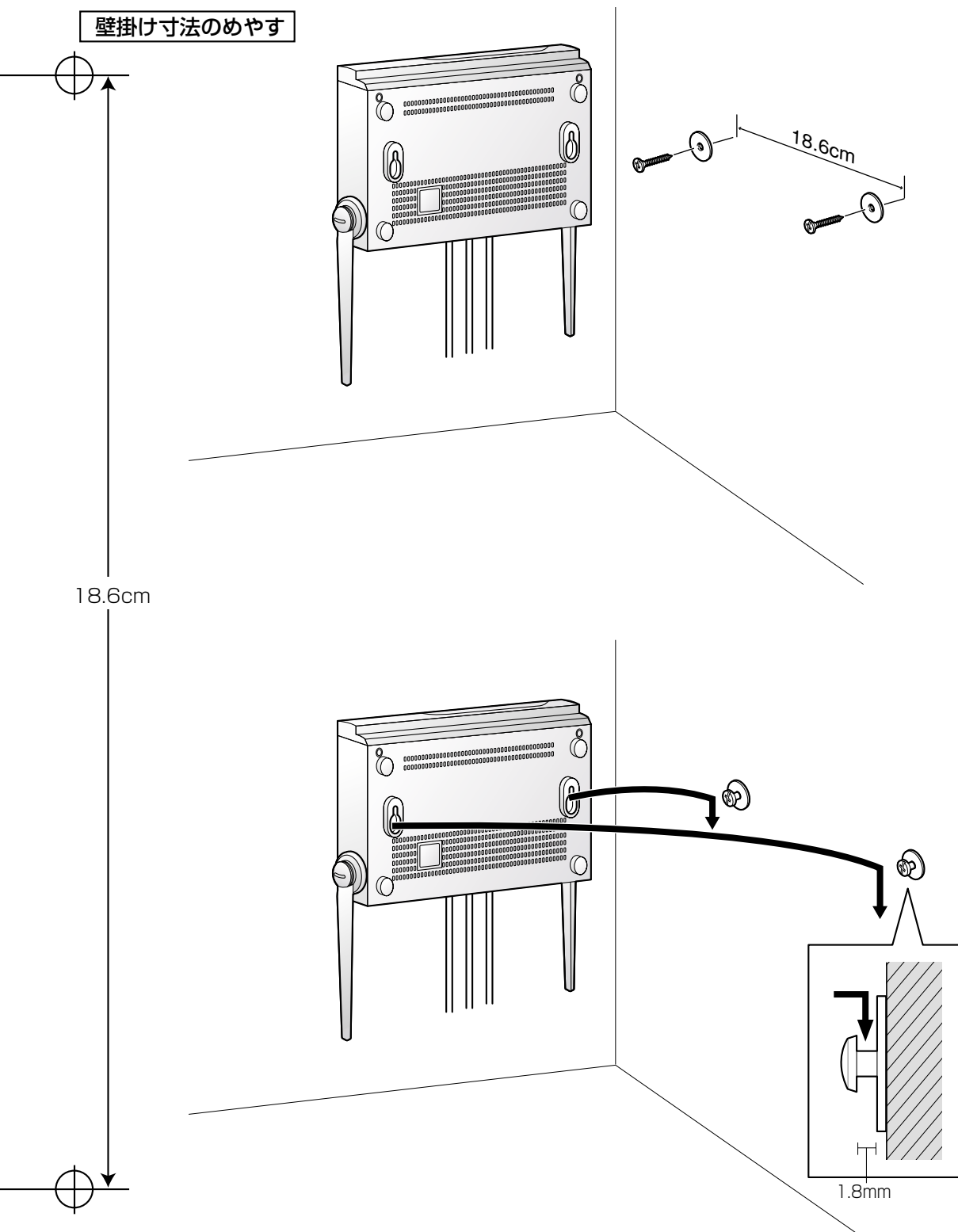
Windows 2000の場合は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」のウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。



壁への取り付け

壁掛け寸法のめやすを使ってネジ/ワッシャー（付属品）を壁に取り付け、本製品をネジに掛けて、静かに下にすべらせる（壁掛け寸法のめやす[※]このページの左側）

壁掛け寸法のめやす



標準設定一覧

プロバイダー登録

プロバイダー登録モニター	No.1	DHCP接続
	No.2	未登録
	No.3	未登録
	No.4	未登録

接続設定管理

WAN (インターネット) 側接続モード	DHCP/Static
プロバイダー設定	DHCP

カメラ設定

カメラ登録 カメラの自動登録機能の設定	使用する
カメラポータル画面配置 カメラポータル画面表示形式	カメラ名と静止画 (自動更新)
WAN (インターネット) 側 アクセス制御 WAN (インターネット) 側 アクセス制御 カメラポータル表示セッション の選択	フルアクセス メインのみ

無線設定

基本 SSIDの設定 SSID空白のクライアントの接続 通信チャンネル	本製品底面に記載 禁止 (SSID空白のクライアントの接続を禁止) 7
暗号化	有効 (128bit)
MACアドレスフィルタリング	使用しない

みえますねっと設定

みえますねっと設定	使用しない
-----------	-------

標準設定一覧

アドレス変換

DHCP/Static接続	使用する (UPnP対応)
PPPoE接続	
メインセッション	使用する (UPnP対応)
サブセッション	使用する (UPnP対応)
UPnPポート自動削除設定	
タイマー	無期限
DMZ機能	設定されていません

セキュリティ設定

セキュリティ	
セキュリティワンタッチ設定	<ul style="list-style-type: none">● プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。● NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。● WAN (インターネット) 側からBB-HGW501への不正なアクセスを禁止する。
ステルスモードの設定	<ul style="list-style-type: none">● BB-HGW501の存在をWAN (インターネット) 側から検知できないようにする。
フィルタリング	
フィルタリング設定条件	設定されていません

標準設定一覧

オプション設定

LAN (ホーム) 側IPアドレス設定	
IPアドレス	192.168.0.254
サブネットマスク	255.255.255.0
ウェブサーバーのポート番号	80
DHCPの設定	
DHCPサーバー	使用する
利用可能なアドレス範囲	192.168.0.1 – 192.168.0.128
DHCPスタティック設定	無効
PPPoE設定	
メインセッション	常時接続
サブセッション	常時接続
DNSリレー設定	使用する
MTU設定	1500バイト (DHCP/Static接続) 1492バイト (PPPoE接続)
ダイナミックルーティング設定	
LAN (ホーム) 側送信設定	送信する
WAN (インターネット) 側送信設定	送信しない
UPnP CP設定	使用する

アプリケーション機能

アプリケーション一覧	カメラ切断通知アプリケーション
------------	-----------------

用語解説

英字

- CATV** Cable Televisionの略で、ケーブルテレビのことです。最近では、このケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続するサービスを提供する会社が増えてきています。
- DHCP**
(Dynamic Host Configuration Protocol) 各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報（IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど）を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。
- DMZ** DMZ (De-Militarized Zone) 機能とは、WAN (インターネット) 側から発信されたすべてのパケットを、LAN (ホーム) 側の特定のIPアドレスへ転送する機能です。この機能により、本製品のLAN側のパソコンでウェブサーバーを運用したり、ネットワークゲームをすることができます。
- DNS**
(Domain Name System) ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、例えば“panasonic.jp”などがあります。
- IEEE 802.11b** IEEE（米国電気電子学会）の無線LANの規格。802.11は赤外線も含む無線LAN全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4GHz帯を使用する最高11Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。
- IPアドレス** インターネット上のすべてのネットワークインターフェースは、IPアドレスによって識別されます。そのためTCP/IPを使用して通信を行うネットワークインターフェースには、固有のIPアドレスが必要です。
- IPマスカレード** インターネットに接続しているネットワークで、1つのグローバルIPアドレスを複数のパソコンで共有する技術です。ネットワーク内でのみ使用するプライベートIPアドレスとインターネット上で使用するグローバルIPアドレスを相互変換します。
- LAN**
(Local Area Network) フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。

用語解説

MAC (Media Access Control) アドレス	イーサネットカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスをもつイーサネットカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。
MTU (Maximum Transfer Unit)	MTUは、ネットワークにおいて1回の転送で送信できるデータの最大値を示します。送信する側が接続ごとに値を設定できます。送信側ホストが受信側ホストより大きいMTUをもっていた場合は、送信側が受信側のMTUに従ってデータを再分割して送信します。
Open System	IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、ふたつの認証サービスをサポートしています。Open Systemは、公開鍵暗号とも呼ばれています。
PPP (Point to Point Protocol)	公衆回線などを經由して2台のパソコンを接続するために開発されたプロトコルです。イーサネット上でユーザー名、パスワードでの認証機能や圧縮機能をサポートするだけでなく、複数のプロトコルを同時にサポートできます。
PPPoE	PPPをイーサネット上で利用するためのプロトコルです。PPPoEを使用するためには、別途PPPoE対応のルーターかPPPoEクライアントソフトが必要です。
PPPoEマルチセッション機能	フレッツ・ADSLなどの複数のPPPoEセッションを利用する際に、複数のプロバイダーへ同時接続したり、フレッツ・スクウェアなどのインフォメーションサイトとプロバイダーへ同時接続することができます。
PPTP(Point to Point Tunneling Protocol)	インターネット上でVPNを実現するためのプロトコルの1つです。PPTPではPPPをベースに、データの暗号化や認証、リンクの確立などの機能をもたせています。現在はWindows NT 4.0やWindows 2000に実装されています。
Shared Key	IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、ふたつの認証サービスをサポートしています。Shared Keyは、共有鍵暗号とも呼ばれ、メッセージの送信者と受信者が一組の鍵を共有し、それをを用いてデータを暗号化、複合化します。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクトで開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルはIPで、トランスポート層プロトコルはTCP (Transmission Control Protocol) とUDP (User Datagram Protocol) の2つです。FTP、SMTPなどのアプリケーションは、TCP/IPが利用されています。

用語解説

UPnP(Universal Plug and Play)

UPnPは、TCP/IPベースでネットワークデバイスの自動検出や情報交換などを行う技術です。UPnPに対応するアプリケーションには、MSN Messenger 5.0以降、Windows Messenger 4.7以降などがあります。UPnP Forumによって仕様が策定されています。

URL
(Uniform Resource Locator)

インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「<http://panasonic.jp>」のことです。

用語解説

あ

- アクセスポイント** プロバイダーやパソコン通信に電話回線で接続する際に、接続できるサーバーのある場所や電話番号のこと。
- イーサネット (Ethernet)** Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。
- インターネット** 地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。
- ウェブサーバー** 画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列（ワード）が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているため、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しい情報を抽出することができます。
- ウェブブラウザ** ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

か

- グローバルIPアドレス** インターネットに接続された機器に一意に割り振られるIPアドレスです。インターネットの中での住所にあたり、インターネット上で通信を行うために必要です。
- ゲートウェイ** ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター（ルーターなど）でネットワークのパケットの道先案内をします。ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

さ

- サブネットマスク** IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。
- 静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)** ポートフォワーディングとは、特定のポートあての通信を指定したポートへ転送することです。ポートフォワーディングにより、インターネット側からホームネットワークへのアクセスも可能になり、ホームネットワーク上にウェブサーバー、メールサーバーなどを構築することができます。
- 静的NAT** ネットワーク内で使用するプライベートIPアドレスと、インターネット上で使用するグローバルIPアドレスを1対1で相互変換することです。

用語解説

た

- ダイバーシティ** 位置が違うところに2つ以上のアンテナを設置し、受信状態のよいアンテナを選択して受信する方式のことです。
- ダウンロード** 遠隔地にある装置側からネットワークを使用しデータを自分側にもってきて保存する作業をいいます。
- チャンネル** 無線通信で使用できる周波数帯域を分割すると、別々の通信ができます。分割したそれぞれの周波数がチャンネルです。(全14チャンネル)
- ドメイン** インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表わします。

な

- ネットワーク** 情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。

は

- パケット** 通信データを一定の大きさに分割し、アドレスをつけて転送するときのデータの単位のことです。
- ハブ** 10/100Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、ポート数はさまざまです。
- パスワード** ファイルやネットワークを利用する際に鍵の役目をする合言葉（文字や数字）です。ネットワークのセキュリティ上、ユーザー識別のためにあらかじめ言葉を登録します。登録されている言葉と一致しない場合は、ファイルやネットワークを利用することはできません。
- フィルタリング
(パケットフィルタリング)** ファイアウォールの一種で、フィルター機能を用いて、ネットワークパケットを選択的に転送する方式のことです。適切に設定すると、不要なパケットが外部に転送されるのを防ぎます。
- ファームウェア** 本製品を動作させるプログラムです。本製品ではフラッシュメモリーの中に格納されています。
- ファイアウォール** インターネットを利用する際のセキュリティの1つ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。
- 物理アドレス** MACアドレスと同じ。

用語解説

プライベートIPアドレス

ネットワークに接続された機器に一意に割り振られるIPアドレスです。ネットワーク内で自由に割り振ることができますが、そのままではインターネットを通じて通信を行うことはできません。プライベートIPアドレスしかもたない機器がインターネットで通信を行うには、グローバルIPアドレスを割り振られた機器にNATやIPマスカレードなどの手段によって中継する必要があります。プライベートIPアドレスは、下の表のようにクラスA、クラスB、クラスCの3段階に分かれています。ローカルネットワークの規模に応じてクラスを選び、そのクラスのIPアドレスの範囲の中でIPアドレスを設定してください。

クラス	サブネットマスク	プライベートIPアドレス (この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる)
クラス A	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ~ 10. 255. 255. 254
クラス B	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ~ 172. 31. 255. 254
クラス C	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ~ 192. 168. 255. 254

プロキシサーバー

プロキシサーバーは、コンピューターとインターネット間のセキュリティを強化したり、キャッシングによってアクセスを高速化するために使用されるサーバーです。

ホスト

各種サービス (例えば、電子メールの送受信など) に必要な処理のほとんどを行うコンピューターなどの総称として用いられています。

ポートフォワーディング

静的IPマスカレードと同じ。

ま

無線LANアダプター

デスクトップパソコンなどを接続して、無線端末として利用することができます。

仕 様

【本体】

項 目	仕 様
電 源	専用ACアダプター : AC100 V (50 Hz/60 Hz)、DC12 V (品番: PQLV12JP) 電源コード長さ : 約1.8 m
消費電力	最大約9 W
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約260 mm×42 mm×150 mm ※アンテナ収容状態
質 量	約430 g
使用環境	温度 (°C) : 5~40 湿度 (%) : 20~85 (結露しないこと)
WANインターフェース	ポート数 : 1 ポート コネクタ形状 : 8 ピンモジュージャック (RJ-45) 物理インターフェース : IEEE 802.3 (10Base-T)、IEEE 802.3u (100Base-TX) ※FTP転送時の当社測定値 : 最大7 Mbps (WAN-LAN)
LANインターフェース	ポート数 : 4 ポート コネクタ形状 : 8 ピンモジュージャック (RJ-45) 物理インターフェース : IEEE 802.3 (10Base-T)、IEEE 802.3u (100Base-TX)
無線インターフェース	伝送方式 : DS-SS方式、半二重 通信速度 (Mbps) : 11/5.5/2/1 (IEEE 802.11b準拠) 周波数範囲 (MHz) : 2412~2484 (中心周波数) チャンネル数 (CH) : 14 セキュリティ : WEP64 bit/128 bit (暗号化)、SSID、 MACアドレスフィルタリング
ユーザーインターフェース	CLEAR SETTINGボタン : 工場出荷時設定用 状態表示インジケータ POWER : 通電/本体状態表示 WAN : WANリンク状態表示 LAN1~LAN4 : イーサネットリンク状態表示 WIRELESS : 無線リンク状態表示
電波障害防	VCCIクラスB

仕 様

【ソフトウェア】

項 目	仕 様	
ルーター機能	プロトコル PPPoEマルチセッション PPPoE接続/切断 RIP DHCPサーバー DNSリレー (DNS代理応答) IPパケットフィルタリング アドレス変換方式	PPPoE/DHCP/Static 最大同時セッション数：2 手動接続/常時接続 あり (RIPv1) あり (128クライアント設定可) あり あり (64設定) IPマスカレード、静的IPマスカレード (ポート フォワーディング)、静的NAT
無線端末機能	セキュリティ	WEP64 bit/128 bit/SSID/ MACアドレスフィルタリング
アクセス制限	ID/Password	
ウェブブラウザ設定	あり	
ファームウェア バージョンアップ	あり	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカメラコントロールユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

「ご使用前に／困ったときには」の「故障かなと思ったとき」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	カメラコントロールユニット
品番	BB-HGW501
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

●停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」にお問い合わせください。

ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター

電話 **03-3491-9797**（通話料金有料）

FAX **03-3491-9016**（通話料金有料）

営業時間 9：00～17：30（土・日・祝日除く）

さくいん

英 字

	ページ
CLEAR SETTINGボタン.....	14、98
DC INジャック	14
DHCP接続	25
DHCPサーバー機能.....	78
DHCPスタティック.....	79
DMZ機能.....	71
DNSリレー	80
IPアドレス.....	27、37、100、102
IPマスカレード.....	61
LANジャック	14
MACアドレスフィルタリング	53
MTUサイズ.....	81
Ping	92
PPPoE接続.....	29、32、91
PPPoEマルチセッション機能.....	36
SSID.....	46、48
Static接続.....	27
UPnP機能.....	64
WANジャック.....	14

あ

	ページ
アドレス変換.....	56
アプリケーション機能.....	83
暗号化.....	49、52
インジケータ.....	14、15
インターネット接続.....	35
オプション設定	77

か

壁への取り付け	107
カメラ自動登録機能.....	41
カメラ設定.....	40
カメラポータル画面.....	20
かんたん設定.....	17
コードクランパー	7

さ

再起動.....	90、98
サブネットマスク.....	24、78
仕様.....	117
詳細設定.....	18
初期化.....	90、98
ステータス.....	93
静的IPマスカレード.....	57、60
静的NAT.....	59
セキュリティ設定	72
接続設定管理.....	36

た

ダイナミックルーティング.....	81
通信チャンネル.....	46、48
トップページ	16

さくいん

は

	ページ
バージョンアップ	87
バックアップ	89
パナソニックのサポートウェブサイト.....	87
パスワード変更	86
標準設定一覧	108
フィルタリング	74
フィルタリングログ.....	95
プロキシサーバー	99
プロバイダー登録	24
ヘルプ.....	97
ポートフォワーディング	57、60

ま

みえますねっと設定.....	54
無線設定.....	46

や

用語解説.....	111
-----------	-----

ら



ログ表示.....	95
-----------	----

Memo

Memo

■ 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
 This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
 This product is designed for use in Japan.
 Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検		長年ご使用のカメラコントロールユニットの点検を!	
	こんな症状はありませんか?	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターのコードが傷んでいる。 ● 電源を入れても動かないことがある。 ● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他の異常や変形、故障がある。 	 <p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。</p>

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	BB-HGW501
販売店名		☎ ()	—
お客様 ご相談窓口		☎ ()	—

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ブロードバンド&ソリューション事業センター

〒812-8531 福岡市博多区美野島4丁目1番62号